

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング（再処理施設(1-46)、MOX施設(1-46)）」

2. 日時：令和3年7月21日（水） 9時30分～12時25分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室（TV会議により実施）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

（原子力規制部新基準適合性審査チーム）

長谷川安全規制管理官、古作企画調査官、大橋管理官補佐、中川上席安全審査官、津金主任安全審査官、岸野主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、田尻主任安全審査官、上出安全審査官、大岡安全審査専門職、武田安全審査専門職、森野安全審査専門職、高梨安全審査専門職、清水係員

専門検査部門 大東首席原子力専門検査官、早川上席原子力専門検査官、館内主任原子力専門検査官

核燃料施設等監視部門

熊谷統括監視指導官、服部上席監視指導官

日本原燃株式会社 村野 理事 再処理事業部副事業部長 他 51 名

東京電力ホールディングス株式会社 サイクル技術グループ
グループマネージャー

関西電力株式会社 原子力事業本部 原子燃料部門
原燃計画グループリーダー

中部電力株式会社 原子燃料サイクル部 サイクル戦略グループ 課長

九州電力株式会社 原子力発電本部 原子燃料サイクルグループ 副長

日本原子力発電株式会社 発電管理室 炉心・燃料サイクルグループ 主任

中国電力株式会社 電源事業本部 原子燃料管理グループ マネージャー

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料

使用前事業者検査の状況及び設工認申請に係る対応状況

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和2年12月24日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nsr.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000069.html
- ・ 日本原燃株式会社 MOX燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和2年12月24日）
「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nsr.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000124.html
- ・ 令和3年7月14日
「日本原燃（株）再処理施設、MOX施設の設工認申請に関する資料提出」
- ・ 令和3年7月15日
「日本原燃（株）再処理施設、MOX施設の設工認申請に関する資料提出」
- ・ 令和3年7月16日
「日本原燃（株）再処理施設、MOX施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	原子力規制庁の武田です。それではただいまから日本原燃株式会社とのヒアリングを開始いたします。
0:00:09	本日のヒアリングは、
0:00:12	トレーは2年の12月24日に申請があった設工認申請に係る審査会合資料、審査会合資料の確認と、渠グループ1のヒアリング資料の確認を行うものになります。
0:00:29	まずは審査会合資料のほうの確認から進みたいと思いますが、規制庁側の本日の出席者が本庁側が
0:00:41	SERP
0:00:46	カミデ備考オオハシタカナシ厳しいの。
0:00:51	ハバサキ。
0:00:53	そして各専門検査部門がタテウチハヤカワ
0:01:01	核燃料施設等監視部門からクマガイハットリになります。
0:01:07	MeVからの参加が、それからね。
0:01:13	ナカガワ。
0:01:16	以上になります。
0:01:19	それではですね日本原燃のほうから出席者の確認をお願いいたします。
0:01:26	はい。日本原燃の藤野です。日本原燃側の出席者ですなカサモ全体通して参加オガセ再処理からムラノナガサワ、タカハシフジノMSのほうからタカマツタニグチとしてヤマダイシハラとなります。
0:01:43	それから障害事業者検査関係ですな。スズキフジヤな発信とタカハシクドウ、オザキスギモト
0:01:53	それからお勧め耐震関係ですね、フナコシサトウ村上ウノ、ミヤモトガシ、ウラバヤシイナズマ、カミタイラスガワラ、ムラタクドウ
0:02:08	オガセ
0:02:10	ハラダメトキ等々なります。
0:02:13	それから審査会合資料に引き続いて実施します共通00関係ですが、
0:02:19	参加者の方がカサモ。
0:02:21	それから千葉山本井黒イナバイワダテ
0:02:30	マツオカaタナカタムラ、サトウヌマヤマ、シミズクボタ
0:02:39	最後に、
0:02:42	内部火災関係ですね、エビナサカモリ、モリマツサイトウとなっております。
0:02:48	以上近年側の参加者となります。

0:02:52	それではよろしければ、すいません。ちょっと冒頭申し忘れたんですけども、審査会合資料をまず確認してから、そのあと、人の入れ替えがありますので、ちょっとだけおきたいと思いますので、お願いいたします。
0:03:10	その下のフジノです。はい、了解いたしました。規制庁タケダです。それでは審査会合資料のほう確認進みたいと思いますので、日本原燃のほうから簡単に説明をお願いいたします。はい。まず日本原燃の藤井です。
0:03:26	昨日説明した資料からリバイスしたところを中心に御説明させていただきます。まず1ポツの論点に対する説明状況ですが、
0:03:35	次の11ページ目にですね、補正に向けたスケジュールということで、疼痛それから潮間事業者検査耐震ですね、その見通し、あと設工認申請書の作成の見通し、こういったものを付け加えて補正までどういうスケジュールでいくかというところで1ページ目についております。
0:03:58	続いていいですかね、障害事業者検査関係についてはそのまま説明に入ります。
0:04:07	はい。日本原燃スギモトですそれでは検査関連につきまして資料を用いて説明させていただきます。まず4ページ目の論点に対する説明状況なんですけども昨日から変わった点としましてマサノ使用前事業者検査のところで1点目ですね。
0:04:23	アクティブ試験の影響によるアクセス性の観点を踏まえた検査の成立性というところですね、その方昨日までの調査ですべて記録があることが確認できましたので、そういった形で記載のほうを見直してございます。
0:04:39	続きまして、その中身としまして、
0:04:42	途中3ページになります。
0:04:46	こちらへ等、昨日の資料からですね
0:04:49	文章と表とですね図のところで記載情報が重複してる部分がございますのでそれを統合して等記載のほうを見直してございます。
0:05:01	中身については特段当期大きくは変わってございませんで変わったところですけども、配管のところですね、重大事故対処設備の配管が5130というところがむしろ時点では24本ということで、照合ということで記載しておりましたが、
0:05:20	先ほど申しました通り昨日の調査によってすべて確認完了というステータスになりますので、そちらのほうの記載を修正してございます。
0:05:28	そのほかを上げて特段記載のほうは結構してございません。

0:05:33	昨日のヒアリングを受けまして 14 ページのほうで見込みからに関する至近の対応状況のほう追記しております。その方が説明者交代制で説明いたします。
0:05:47	はい。昨日中、日本原燃の橋と申します。昨日のヒアリングの中で埋込金物に関しての資金が対応状況について資料 1 枚追加してするという話がありましたので入れたものでございます。資料番号でいきますスライド番号 7 ページになります。
0:06:04	埋め込み金物健全性確認に関しての資金の状況といたしまして 5 月 25 日の審査会合において説明した以降の
0:06:12	上記出せません。14 されれば 54 ページになります。また 2 ヶ月ほどですねこの埋込金物の健全性確認に関しての公開の場での説明がとってませんでしたのでその間における状況ということでまとめてございます。
0:06:30	5 月 25 の会合においてまたご説明をして二つ目のポツでございしますが、これらええと品質管理等で健全性を確認したものに関しましては、個別の検査記録が残っているもの 25.8 万前へ検査記録が現像せいぜい品質保証体制等から確認したものが約 15 万枚。
0:06:47	品質管理の記録が現存せずに全数調査したものを約 0.3 前に分類しているものについて確認を行ったというものでございます。このうちですね、約 15 万前 E の範囲につきましては、施工要領書品質保証計画書工事記録からですね、の組み合わせから、
0:07:05	元請会社の品質管理のもとで適切に施工が行われたということを確認してございます。その確認者記録の組み合わせといたしましては、その下に ABC ということで記載しておりますが、施工要領書等品質保証計画書で確認したものが約 0.7 万枚。
0:07:21	施工要領書工事記録で確認したものが約 13.8 万万円、こっち記録で確認したものにつきましては約 0.5 枚というもののものでございます。
0:07:31	このうち、C に該当いたしますけれども、当社の中で施工要領書が保管されていなくてですね工事記録のみで確認を行った建屋というのがユーティリティー建屋及び所済み燃料輸送容器管理建屋のうち保修エリア等除染エリアの部分ということでございます。
0:07:50	その後、
0:07:52	状況でございますが、蒸気に建屋部につきましては継続して元請会社の確認を含めて、要領書の有無を調査しておりました。その結果、資料済み燃料輸送容器管理建屋の補修エリアと除染エリアについて、施工要領書を確認することができまして、

0:08:09	記載内容についても他と遜色ないような検査項目個別の検査記録の作成要求等が確認できました。
0:08:17	またということでUTP建屋につきましてはですね、現時点ではまだ宅建には至ってございまして、施行要領書の有無の調査を継続してございます。
0:08:27	合わせてこれらの埋め込み金物に関しまして、現品調査の可否、いいですとか、運転で運転設備への影響も含め、1ヶ月程度をめどにですね調査方針をまとめていきたいというふうに考えてございます。
0:08:41	al等がそうですのですね。その後の状況ということで使用済み燃料輸送容器管理建屋の補修エリアと除染エリアにつきましては、AとCポツの分類いただいたんですがそれをBポツの分類に変更になるということで、その下の表につきましては、ユーティリティー建屋の部分の見込みか。
0:09:01	そのステータスを表としてあらわしてございます。
0:09:04	4004571 枚中ですね、現品調査がすでに終わっているものにつきましては2986 万円、この未実施分の中の内訳といたしましては焼酎のものが 929 枚で未使用のものが 666 万円ということでございまして、
0:09:19	これは元請会社 1 社ととして子会社の組み合わせによる施工のみでございまして。
0:09:25	説明につきましては以上になります。
0:09:30	規制庁の武田です。ありがとうございます。それでは一旦ここで区切りまして、試験に関する内容の検査の関する内容の方から確認進めたいと思います。規制庁側から確認事項ありましたらお願いいたします。
0:09:52	規制庁コサクです。13 ページのほうは確認終了ということで
0:09:59	先日提出したものはSA配管のものは、きっと調査中ということでしたけど、確認できたということで、内容はいいんですけど、図面で配管意識っていうのが 3 万って言うっておきながら円グラフで小さいっていうのは、これは直さないんですか。
0:10:20	日本原燃のフジヤでございまして。すいません表記がちょっと正しくないですか。円グラフ直させていただきます。
0:10:27	規制庁コサクです。わかりました。その際にですね、今日では、既設F施設配管、
0:10:37	埋設支持構造物って並ぶんですけど、円グラフと並び気が合っていないところも
0:10:45	適切にしてもらったほうがいいのかなあと有効な体裁ですけど、埋め神奈川日円グラフになくて表に入ってるっていうところ、こころをどう考えればいいんですか。

0:11:04	意見フジヤでございます。と円グラフの中の埋め方党支持構造物は円グラフの中にある設備の関連という形になるのですね、ちょっとここは円グラフの中から話してですね、表のほうも少し見せ方を修正させていただきたいと思えます。
0:11:23	関連する設備ということですね、切り分けたいと思えます。
0:11:27	はい、規制庁コサクです。わかりました。なお機器としてっていうので円グラフ表で示し、それに附属する検査前確認事項としての梅かな支持構造物についても広告をやってますよと。
0:11:42	いうことを別枠で言われてその詳細というので 14 ページで上からの情報説明いただくということによろしいですね。
0:11:53	年フジヤでございます。それで結構でございます。
0:11:57	はい、規制庁コサクですわかりました。
0:12:00	各委員から、この後の埋め方聞いていただいたほうがいいかと思うんですけど私から 1 点。
0:12:06	お聞き体裁含め、お聞きさせていただくとですね。
0:12:15	今回のこの表で現品調査を 2986 万やってることなんですけど。
0:12:22	これやってるってことはすでに調査方針があって、
0:12:26	調査を進めておられるという認識でいたんですけど。
0:12:30	1 ヶ月めどで調査方針をまとめるっていうのは一体どういう、
0:12:35	状況なんでしょうか。
0:12:38	日本原燃舟橋でございます。これまでの減便調査の枚数というところにつきましては、2003 年当時の埋込金物の問題ですとか、2015 年度浮き上がりが確認された以降、沼の代表建屋提唱を中心に調査をしていくということで、
0:12:58	施工会社を中心に満遍なく網羅する形で調査を進めて参ってですねその結果としていや、もうすでに終わっている枚数として 2986 枚というところでございます。その中には、例えば未使用のものがあったりですとか、
0:13:15	例えば天井裏ですね、そういった高いところにあるようなところ、そういったところにつきましては今回のその 2015 年以降の調査の中で調査をしてこなかったという分類のものでございます。ですので、
0:13:31	今回ですねそれらも含めて改めてそういうところに対しても手を伸ばして調査をしていくということで、それらの更新を 1 ヶ月程度でまとめていきたいというふうに考えてる次第でございます。
0:13:47	規制庁コサクですね、そういうことだとするとあれですか、審査会合を今回めどが立つわけじゃなくて、来月もう一度会合で説明をしたいということですか。
0:14:05	少々お待ちください。

0:14:13	一応すいません日本原燃舟橋でございます。これらに関しましては自主的にこれらに取り組んでいくというところですね、
0:14:24	自主的な対応を現品調査の今後の対応方針というものを1ヶ月程度でまとめようというふうに考えているというところでございます。
0:14:45	コサクです。
0:14:49	よくカーないんですけど、まずこれまでの調査における現品調査枚数って書いてあるのは、独立のやつを前々回の会合で確かめかなの説明をしていただいたと思うんですけど。
0:15:04	その1ページの左側でoutやってますと言っているところの数の内数ということですかね。
0:15:16	おっしゃる通りです。日本原燃船津でございます。おっしゃる通りで審査会合の場で体系を整理した概要図をお示したと思いますがそのオート左下でUD異による埋め込み金物現品調査ということで、この15万に対しては5.6万現品調査をやってますというふうに御説明をしたかと思うんですが、その内数になります。
0:15:39	規制庁コサクです。状況わかりましたその点はわかるように書いていただいておりますね。あとその日、
0:15:48	次に書いてある現品調査未実施枚数と言ってるのがどういうものなのか。
0:15:56	どういうそのまとめようとしてのものっていうのがどういう検討してるのかっていうことがわかるようにしていただけますか。
0:16:04	まずっても、
0:16:06	午前中だったら直し聞くの。
0:16:12	どうぞ。
0:16:13	うん。
0:16:15	早期にその点わかるように書くっていうことは可能ですか。
0:16:21	はい。日本原燃の話でございます。修正資料修正したいと思います。
0:16:27	規制庁コサクです。起こりもしたと。
0:16:38	戸高です。あとですね、にかけ前々回のやつの資料で左下で書いたものの調査の範囲っていう
0:16:49	ウノは抜き取り率だったと思うんですけど。
0:16:55	基本的にやれる範囲はすべてやるっていうことなんでしたっけ。
0:17:00	はい日本原燃舟橋でございます。当時の基本的な考え方といたしましては質問施工会社を網羅する形ということと、あと、提唱をすべてモース提唱を満遍なくやっていこうというところ。

0:17:17	あとは血小板の裏とか仕上げの裏だとかですねそういう、のものにつきましては合理的に実施できる範囲についてやっていこうという方針で現品調査を進めて参った次第でございます。
0:17:31	規制庁コサクです。わかりました。そうすると、残り分も幾つかやれる範囲はあり、
0:17:38	一方で構想だったり、狭隘部だったりで十分にできない箇所もあり、
0:17:44	あるってことですかね。
0:17:47	おっしゃる通りです。
0:17:49	規制庁コサクですわかりました。大体そういった概要わかるようにしていただければと思いますのでよろしくお願いします。
0:17:56	日本原燃の橋でございます承知いたしました。
0:18:07	はい。
0:18:08	核燃料監視部門のクマガイですけれども、
0:18:12	ちょっと審査会合の場で確認させてもらいたいことが二つありますのであらかじめ伝えておきます。
0:18:19	まず不適切な施工会社は1社パツというところの
0:18:24	確認をさせていただきます。
0:18:27	あとその施工会社は一般共同コウ以外の建屋等は施工してないかというところも、
0:18:33	確認させていただきますので、その都度お答えいただければと思います。
0:18:39	このシーム原発はい。
0:18:42	日本原燃船津でございます承知いたしました。
0:18:45	この不適切な施工会社、
0:18:48	なんですけども、その施工会社の二重け30ヶ所というところも、
0:18:54	ここの改正に入っていないというところは確認できてるんでしょうか。
0:19:01	日本原燃話でございます。そこにつきましては、現在調査してございます。
0:19:09	それも何らかの会合で御説明いただければ、ヤマダのこちらからお聞きしますので、また回答いただければと思います。
0:19:19	ちょっと資料なんですけども。
0:19:22	ちょっと今こそコメントに加えて、
0:19:26	加えてもらいたいことがありまして、三つ目のポチなんですけども。
0:19:31	いろんな記録を組み合わせ適切に行われたことを確認したとあるんですけど。
0:19:37	ここで確かあの原燃さんの判断基準があったと思うんですけども、取り付け位置だとか外観だとか、

0:19:44	打設前後の
0:19:46	測定記録はこういうものがある。
0:19:48	あると適切に施工が行われたという判断するという、そういう形で、
0:19:55	確認がされたかと思しますので、
0:19:58	原燃さんの判断基準を3ポツのところに加えていただけませんか。
0:20:07	余計な話でございます。承知いたしました。
0:20:10	はい。
0:20:12	私の方から以上です。
0:20:26	規制庁コサクです。14ページの記載を拡充していただくってことでお話し てるんですけど、調査方針を1ヶ月後って言われると介護で聞かざるを得なく なっちゃうんですけど、大枠の方針を示していただいて詳細は床の今後詰め
0:20:45	実施する内容詳細詰めていきますぐらいであれば、
0:20:49	その延長線上での対応で原子力規制検査で確認すると。
0:20:55	というような方向もあり得るので。もう少しそういう点でベーム明快な説明をして いただけるようであればちょっと考えようがあるかなと思ってます。いずれにし たままの資料を修正して提出していただいたもので、こちらで対応方針を考え ますので、
0:21:13	整理をよろしくお願ひします。以上です。
0:21:16	日本原燃フジヤでございます。今コサクさんから指摘あったところの一番最後 のところの文末はですね、ちょっと社内のところでもいろいろありますので、ちょ っと適切にですね、修正していきたいと思ひます。
0:21:43	規制庁の武田です。それでは検査のほうは以上とさせていただきます、
0:21:54	次は3ポチの耐震のほうですね、こちらのほう修正箇所と説明をお願いいたし ます。
0:22:05	日本原燃移動してございます。こちらのほうの説明といたしましては表紙にご ざいますけれども、昨日からの修正といたしまして3ポツというような形のほう で、飛来物防護ネットの上部架構の耐震評価についてといったところ新たな項 目として追加の方さしていただけるというのが全体の枠組みとしての変更にな ってございます。
0:22:22	①番目のほうの地震応答解析で地盤モデルの設定こちらのほうにしまして は、昨日の指摘を受けまして20ページ目でございますけれども、こちらのほうに 敷地内のPS検層の位置図といったところで参考図の洪水記者といったところ の変更点になってございます。
0:22:41	よろしければこのまま続けさせて説明のほうをさせていただきます。

0:22:47	日本型カミタイラです。続きまして設計用地下水位の設定について説明をいたします。
0:22:53	昨日のコメントを踏まえまして修正を行っているんですが、ちょっと一部の修正が間に合っていない部分がありまして当行等で修正内容を説明したいと思うんですけども、22 ページ。
0:23:09	〇〇I指摘事項のコメントNo.8 の対応方針のところなんですが、現状、上サガワだ補正式の適用性について有効応力解析の結果を踏まえて妥当性を明確化するという記載をしていくんですが、
0:23:24	こちら有効応力解析の結果を踏まえ、適切に設定をすること。
0:23:33	ということで内容を変更したいと考えております。
0:23:42	続きまして、その次のページ、説明内容になりますが、こちらも同様に議長会計画対等二つ目の矢羽ですね、こちらの表現をえとですね。
0:23:57	有効応力解析の結果を保管できるよう適切な設計Aとすることを確認するというように、その後半部分の修正をしたいと考えております。
0:24:09	続きまして
0:24:12	次のページに参りまして指摘を踏まえて全体の評価フローを記載しております。
0:24:21	次のページへ行きます、
0:24:29	こちら構造概要と耐震評価概要を現状のまま載せているんですが、③の資料で、こちら同じような内容が記載されておりますのでこちらの記載をどうするかというところをちょっと相談させていただきたいと考えております。
0:24:46	次のページいきまして 26 ページで
0:24:52	そもそもはけて経験を状況整理ということで、こちら昨日コメント踏まえまして表現を見直しをかけてございます。
0:25:01	次のページ、27 ページ向性低下の
0:25:07	そこ方針ということで記載をしています。こちらは
0:25:15	3 段落目になるんですか。
0:25:19	冷却塔の亀裂防護ネット冷却塔の改修を囲う計上しており、内部にマンメイドロックが配置されていますが、 $\beta\phi$ 与えるもせん断抵抗が大きいためドロップの改良マンメイドロック部分を
0:25:34	強度が弱い改良地盤とみなして評価して安全版の評価をしていますということをごちらに明記させていただきました。
0:25:45	次のページへ行きます向性低下剥離の評価をしている部分です。こちらについてはちょっと記載が

0:25:55	簡単なものしか期待をしておりませんでしたので文章での記載を充実させたことと概念図を時実技させました。それと結果イメージは基本評価結果のみを示していたんですが、こちらにイメージとして新たに計算した結果、
0:26:12	そういうものを記載を追加しました。
0:26:17	続いて 29 ページになりまして炉圧の有効応力解析での監視所という部分なんですが、炉圧分布の確認ということで、表の中にサーバーの正式による計算結果というものを併記する形としております。
0:26:36	続いて 8 ページに参りまして速報動圧の設定の妥当性検証ということでちょっとこちらが大きく内容変わっておりますので内容説明させていただきます。
0:26:48	まず最初にサガワ正式には動水圧荷重というものをどう計算したかというものをこのページ中ほどに不安ええと。
0:27:00	有機ゴムで計算過程を示してございます。
0:27:04	経営層で、すいません。右の図、図になってますが、図の中ではどうか紫系のオオハシ線で四角く囲っている面積はこちらでかじを当初設定を考えていたという部分でございます。
0:27:21	それに対して、今回、有効応力解析の結果が出たと。その結果を踏まえまして有効応力解析の結果法案できるように、ケース 2 を乗じた値ということで、
0:27:36	当図で言いますと、
0:27:40	合計の放物線で視点が追加されているんですけども、こういう線を追加、新たに設定してこちらの荷重を通せ圧荷重として、改めて設定すると。
0:27:55	ということで交渉を変更してございます。
0:27:59	その結果としまして一番下のポツになるんですけども、有効応力解析による動圧荷重で計算した値とイノ係数を乗じたものというものを、荷重値というものは、
0:28:15	本番してるということで荷重値としては大きくなるように設定できているということを整理してございます。
0:28:23	最後まとめのページに参りまして
0:28:27	コメントナンバー二つ目の矢羽ですね、こちらもちょうと表現を直しております、コメントNo.8 に対して下 2 行ですが、解放として最初でサガワの補正式が有効応力解析の結果を包含できるように、
0:28:42	相乗した荷重設定として、評価の保守性を確保するということで方針を修正してございます。
0:28:54	サトウ、ここで一旦切りましょうか、それとも等、
0:28:59	詰めにマイナーなので、
0:29:01	はい、じゃあ、引き続き、

0:29:04	うん、はい、じゃあ、引き続きまして日本原燃のハラダでございます。③飛来物防護ネットの上部構造における耐震評価です。
0:29:12	33 ページ目ですけれども、まず全体構造概要を述べております。その流れで空きスペースありませんでジャックス拘束別の概要を述べました。
0:29:26	続きまして 34 ページですね、そして代金、評価の概要をそれぞれ事象とか時期とか応力解析をもとに、超過してございます。以上であります。
0:29:45	町のタケダです。はい、説明ありがとうございます。それではここまでの説明を受けまして、規制庁側から確認事項コメント等ございましたらお願いいたします。
0:29:59	規制庁カミデです。まずちょっと体裁的なところですけど、
0:30:06	25 ページを、これ、この説明と関係ないですよ。不要だと思いますけど、どうですか。
0:30:15	はい。日本原燃カミタイラです。25 ページについては記載を削除いたします。
0:30:24	はい。規制庁カミデです。そうすると、
0:30:29	多分 26 ページところでもページずれができるので、ちゃんとのすべてください。
0:30:36	ということと、あと 24 ページの右上の赤字。これって今までもこういう形でしたっけ、何かもうちょっと、いついつ会合の資料幾つみたいなそんな書き方してませんでしたっけ。
0:30:55	はい。2 億円のカミタイラです。これまでの記載のルールを確認しまして、適正化いたします。
0:31:03	はい、規制庁込みですね、あとその関係で言うと 20 ページのはちょっと今費用を配らないんですけど、会合資料でこれとしてますし、そう、そうであれば、同じような対応で、
0:31:20	右上に注釈を入れるという対応をお願いしたいと思いますけどいかがでしょう。
0:31:27	2 億円としてございます確認いたしまして、基本的なベースがついてるんですけどちょっと色を変えたりとかしてる部分もございましてのでちょっと背後にあるかどうか確認した上で適切な表現のほうに直させていただきます。
0:31:40	はい。いついつの資料を若干こういう観点で見直したみたいなこともあったと思うので、ちょっと
0:31:49	今までの資料を確認してください。
0:31:56	よろしゅうございますよといたしました。
0:32:07	規制庁込みです。あとは
0:32:12	20

0:32:16	29 ページ。
0:32:19	30 ページなんですけど。
0:32:26	29 ページの上スタバ殿線がグレーで。
0:32:32	30 ページのと戦後色が変わるっていうのがよくわからなくて、
0:32:39	Westワードの線はグレーにかけの上スタバ殿線をこの黄土色みたいな色にする方がわかりやすいと思うので、その辺対応お願いします。
0:32:55	日本原燃カミタイラです。承知しました整合させるように修正します。
0:33:00	はい。
0:33:01	規制庁込サガワと 30 ページで判例が本部長てるようなところもあるので、その辺も修正をお願いします。
0:33:14	上のカミタイラです。承知しました。
0:33:18	規制庁込みです。
0:33:20	あと続けて 30 ページの
0:33:24	ピンクの点線の四国五行に当該部の面積ってあるんですけど。
0:33:30	当該部っていうのがよくわからないし面積っていうのもよくわからないんですけどこれどういう説明なんですかね。
0:33:39	はい。日本原燃カミタイラです。
0:33:43	ちょっとそうですね。説明が不足しておりましたすみません。まず
0:33:48	FO-Aという記号の荷重の計算なんですけど、まず、沢床正式にPワンという値。
0:33:56	を算出すると、
0:34:01	その時の一番低い部分が最大値を得るんですけども、それを基に、その辺りは 180 ぐらいになるんですけど、それを切り上げた 200 というものを設定して、それが一律下から上まで同じ荷重がかかると。
0:34:19	いうふうにみなして荷重を設定していたと。
0:34:24	ということでその計算方法が計算方法といいますか、荷重への広い過去の
0:34:31	破損で困った部分の面積に値するという意味で記載をしておりました。
0:34:42	規制庁カミデです。
0:34:47	ちょっとよくはわからないんですけど、実際に計算で相当
0:34:54	入力した荷重っていうのは、
0:34:57	30 ページの 2×ベースとフォワードのラインではなくて、このピンクの点線ということですか、200、200 キロ入湯を上から下まで一律欠けた場合の利益席。
0:35:13	でやってますということなんですか。
0:35:17	はい。日本原燃カミタイラです。有効応力解析を実施する前の評価手法としては、その値を用いて一律したらまで 200 掛けるという方法でやっておりました。

	今回、有効応力解析の結果を得たということでその結果をすべて包含できるように、
0:35:38	そこを一つの味を見直しますということで
0:35:44	評価方針を変更しております。
0:35:48	規制庁カミデです。だとするとこのピンクの点線の囲みの意味必要性の意味がわからないんですけど、いらないうことでですか。
0:35:59	日本原燃のカミタイラです。これまで説明してきた内容もございましたので円筒の仮定という意味で記載をしましたが、最終的には用いていないものになりますので戦力不要となります。
0:36:16	規制庁込みです。これまでといっても、ヒアリングの過程の中で話を聞いただけで会合で、
0:36:26	この辺の話を聞くの初めてなので、別に経緯を出さなくていいんじゃないかと思えます。
0:36:34	4.2 カミタイラです。承知いたしました。ええと記載適正化いたします。
0:36:41	ちょっと規制庁カミデですけど 32 ページでちょっとタイトルなんですけど飛来物防護ネット上部構造って書いてますけど。
0:36:53	上部構造という言葉もうなじみがないですし、ネットの
0:36:59	内ネットにおける耐震評価という形で話を通じると思うので、ちょっとタイトルのほうはそういう形で見直していただけますか。
0:37:09	日本原燃原です。承知いたしました。
0:37:11	規制庁込みですタイトルだけでなく、上部構造という言葉がちょっとちょうど数量的なので、一通り見直してもらえればと思います。
0:37:22	日本原電です。そうですねあの全体のページを通してちょっと中に確かに、上部構造っておかしいので修正いたします。
0:37:33	規制庁カミデですか、あとちょっと戻りますけど、26 ページの
0:37:39	真ん中①の 3 の括弧調整中っていうのが、これ何に対する調整中なのかっていうのがよくわかんないんですけど、
0:37:50	ちょっと説明いただけますか。
0:37:53	はい。日本原燃カミタイラです。もう丸い値の 12 については、評価の方針についてページ 2728 で説明を入れていたんですけども、ちょっと率の差については資料が間に合いませんでしたので、
0:38:11	今日の午後最終提出までに結果を記載させていただきたいと考えております。ことで記載しようとしている内容を説明させていただきたいと思うんですけどもよろしいでしょうか。
0:38:25	規制庁込みですみません

0:38:28	どういことですか 1 枚スライドをまた追加するってことですから 29 ページみたいな形で、
0:38:35	はい。日本原燃カミタイラです。その通りでございます。1 枚の説明を評価答申の内容を追加したいと考えております。
0:38:49	規制庁カミデです
0:38:53	ちょっと、
0:38:55	準備状況が終わる杉井です。30 ページの
0:39:02	内容も昨日の資料から大幅に変わっていて、昨日の資料だと。
0:39:08	スターカードの補正式の荷重で 3700kN/メーターですって言われたんすよ。
0:39:14	1 日たつと、何か 4613 とかっていう数字になっていて、
0:39:20	本当に意味がわからず、
0:39:24	きちんとヒアリングで事実確認をして会合で充実した議論をするということ。
0:39:32	ためにやっているのに、何項、
0:39:36	断面があるたびに、日々内容が変わってくると。
0:39:41	いうことだと思うんで、何を審査していいのかわからぬを我々よくわからないんですけど、その辺どう考えてますか。
0:39:53	はい、日本原燃のカミタイラです。記載が変更となってしまった点、また準備が
0:40:03	悪いという点については、
0:40:08	今後、
0:40:10	それからさないように対応したいと申し訳ないと思います。
0:40:16	まず今回のオオハシの変更については、より
0:40:24	説明性といえますか。
0:40:29	補正をもっと設置評価ができるようにということ
0:40:35	潮間改善良化したという点で
0:40:40	要すべきだという判断がちょっと直前になってしまったな、非常に申し訳ないんですけどもこういう対応をさせていただきました。以上です。
0:40:51	規制庁込みですが、より良く
0:40:54	っていう姿勢は別に悪いことではないんですけどそれとスケジュールの関係が本当に
0:41:02	甘くて、会合までに何とかすればいいだろうみたいな甘い考えが非常に
0:41:11	見えても進んでその辺は厳に改めていただくと。
0:41:17	いうことだと思えますけど、まず
0:41:20	この②番の話を
0:41:24	もともとは次回の会合で大筋の方向性を確認できるようにということだったと思うんですけど、どう、どうされたいんですか。

0:41:40	はい、日本原電カミタイラです。今回、今回の会合においては評価手法がまあ妥当であるということを説明いたしまして、
0:41:53	評価書を確立したい確率といますか。
0:41:56	はい。
0:41:57	これが問題ないということを当委員会の会合の目的としていて、その方針に基づき補足説明資料のネットの
0:42:10	パートで結果をきちんと詰めていくということで進めていきたいというふうに考えております。
0:42:19	規制庁込みですつまり8月の会合でこれをまた改めて説明する、要はほんとに状況紹介というわけではなくて、こうやってやっていきますよってという方針をちゃんと説明するというふうに認識なんですよ。
0:42:36	表面にカミタイラです。その通りです。
0:42:41	それにしても非常に準備不足だと思いますのできちんと改めにオンしてください。
0:42:51	その上で話を戻しますけど26ページの①の3つというのを、
0:43:00	当対応することということなんですけど。
0:43:07	そちらの考えとしては、
0:43:09	どうしてどうしてかっていう値を
0:43:12	機構は聞いておきますけど、説明してください。
0:43:17	はい。①の3こちら活動の評価ということで評価ショート者バーチャルに記載のある
0:43:25	摩擦抵抗で確認するということと、昨日説明でことで説明しました杭の応力降下というイノせん断耐力というのをあわせて評価するというのでして、
0:43:41	6段目の特別なことをしているものではないのでそれで評価の成立性まで昨日お試しで確認できましたので、
0:43:51	評価手法についてはそれでいけるということを踏まえて資料、
0:43:57	1枚まとめて追加をさせていただきたいと考えております。
0:44:06	規制庁カミデです。そういう内容だったら、とりあえずは
0:44:13	②番でも、全部後ろに飛ばしているOKではないので、
0:44:25	特に大事なものとして、2728ページのページには書いてあるけど、
0:44:33	それ以外には確認するってことなので、特別
0:44:42	ページを通過するということまでをしなくていいのかなというキーを審問数ね。
0:44:50	はい。今現在カミタイラです。黒線方針、こちらについては追加なしへの対応ということで

0:44:59	進めていきたいと思います。はい。その上で②番の2ポツぐらい、2ポツの書きぶり等対応するような
0:45:09	形で評価の方針を説明すると。
0:45:14	いうところぐらいかと。
0:45:17	思います。
0:45:18	ので。
0:45:19	そういった多様で少し検討ください。
0:45:25	はい、にお金カミタイラです。記載程度充実することで対応いたします。
0:45:34	規制庁カミデです。とりあえず私のほうからは以上ですけど、
0:45:41	本当に日々中身が変わって行って困惑してますので、
0:45:47	本当に今後本当にならないように、
0:45:50	全体の話として、きちんと聞いておいてください。よろしくお願いします。
0:46:01	日本原電ムラノです。了解いたしまして、少し全体統合してですね、見れるように、
0:46:08	ちょっとここ今、
0:46:09	今の話をしてく抜けないように少し工夫をして参ります。以上です。
0:46:17	引き続き規制庁コサクです。
0:46:20	工夫というよりはですね、そもそもちゃんと検討してるのかっていうことなんですよ、説明のスケジューリングが悪いとか以前に、
0:46:29	原燃の或いは原燃に情報提示している。
0:46:40	何ですかね、発注先の企業の方々今日同席をされてますか。
0:46:51	本日は同席はしておりません。日本原燃カミタイラです。
0:46:55	規制庁コサクです。
0:46:58	その方々も含めて非常にいい加減な対応をとってんじゃないかというふうに疑念を生じてなりません。
0:47:06	ヒアリングで何か言われたらこれこれこれこれ対応が変わると。
0:47:10	いうのは、技術者として責任を持って対応をとってるとは甚だ思えないので、
0:47:15	そんな審査対応されるのであれば、審査を止めるしかないと。
0:47:20	いうことになります。
0:47:22	あまり、こういうような話ばかりずっと半年やり続けてるんで、言いたくないんですけど、言わざるを得ないような対応をやめていただきたいと。
0:47:32	いうふうに思います。しっかりと説明し切れるものとして、メーカー原燃。
0:47:39	或いは支援の電力と。

0:47:41	いう形でしっかりまとめきって、これで説明し切れるんだというもので説明していただかないと審査は一向に進みませんので、対応改めてください。開講できるかどうかちょっと
0:47:54	管理官とも相談しますけど。
0:47:56	よろしくお願いします。それで今の点にも関係するんですけど。
0:48:02	30 ページが意味がわからなくてですね。
0:48:07	27 ページでフェスタガード補正式を用いて荷重を設定すると言っておきながら、
0:48:14	それ、その妥当性を見ますといった資料のところでは不十分なので二倍にしますなどと言われたら、最初の方針が自分たちで間違ってるって言うてるわけですよ。
0:48:26	そんな資料どうやって会合で話をしようとしてるんですか。
0:48:31	はい。
0:48:39	日本カミタイラです。
0:48:45	当初の考え方としましてはちょっとこちらにも記載があるんですが、規制庁の古作です。当初の考えはどうでもよくて、
0:48:54	今先ほど申し上げたように、当初だろうとは関係なくメーカー原燃支援の電力と。
0:49:02	いうところでしっかりと考えてこういう方針にしよう。
0:49:06	いう整理をされたらその方針の妥当性を説明してもらえばよくて、
0:49:11	計画段階で我々知ったことないんですよ。
0:49:15	すでに申請されちゃってるからその申請から公開ますっていう時にはなんで変わったんだっていう経緯は聞くことにはなりますけど。
0:49:24	本件であればそういう経過よりはちゃんとした説明をしてくれと。
0:49:28	いうことに尽きてロジックも整理をして端的に説明することっていうのが審査会合でのこちらからの要求なんですね。
0:49:38	その上で、何考えてるんですか。
0:49:54	日本原燃佐藤です。
0:49:58	でしたが、クドウのちょっと見せ方が
0:50:02	非常に混乱を招くような見せ方になってます。
0:50:07	結果的にはSガードをベースにしてOracleできるような二倍の係数を使った荷重を設定するっていうことが今の方針になってますので、そちらの方がしっかり説明できる資料にちょっと改めさせていただきたいと思います。先ほどごさいませんでした。

0:50:27	規制庁コサクですけど、単に二倍して崩落するからいいだろうっていうので評価方針を定めるっていうのはほぼ先行例としてありますか。
0:50:40	こんないい加減な評価方針を設工認で出したいと私見たことないんですけど。
0:50:51	実現される電力の方はどなたですか。
0:51:02	要件サトウです。こちらについてはちょっと次回の連絡の方はどなたですか。
0:51:16	出てる言い方がいないのであればメーカーはどこですか。
0:51:26	メーカーという表現が悪ければゼネコンはどこですか。
0:51:33	日本原燃、佐藤ですが前弧につきましては、一連の
0:51:40	統合加工ネットの構造を見ていただいている大成建設のほうに、
0:51:47	に
0:51:49	協力していただいて進めておりました。
0:51:55	規制庁コサクです。であれば体制がウエストカードの二倍で評価するのが、一般的にこういう事象に対して適切だという判断をされてるってことですか。
0:52:09	日本原燃佐藤です。体制等もちょっと荷重の設定については相談して
0:52:17	最終的にはこういった方針で
0:52:21	いくのが評価上のA4 ではないかというような話に今なっております。
0:52:31	日本原燃佐藤です。ちょっと先ほどこれまでのこういった荷重の設定の仕方についてもう少し前年の調べまして、そういった意味で当初設定の考え方についても整理させていただきたいと思います。
0:52:49	以上です。
0:52:53	規制庁コサクです。電力の支援されてることはどなたなんですか。
0:53:11	日本原燃、佐藤です。
0:53:13	ちょっと
0:53:16	こういった液状化時の評価を全例でやっていたのと、東海3とかについて少しもう一度相談させていただいて、
0:53:29	設定の考え方を整理したいと思います。
0:53:35	規制庁コサクです。今の説明からすると、電力線は今現状では受けてないってことですか。
0:53:46	日本原燃、佐藤です。これまで資料等の説明等は1 いただいたり見せていただいているんですが具体的にこういった設定方向について相談した。
0:54:01	実は申し訳ありませんがございませんでした。
0:54:04	規制庁コサクです。
0:54:06	今日対応のヘッドの方はどなたですかね、電力支援を受けるって言ったのでそうだったことですね。

0:54:42	日本原燃のムラノです。これまで電力市場におけるっていう話についてはメインd話してきたのは、共通シリーズの整理ですね、それについて議論をさせていただいてきたというふうに認識を持っております。それでこの
0:55:00	技術案件については、基本的には内部にいる人間で等の電力の出向者を絡めて評価してきているという位置付けで対応してきたということだと思っております。
0:55:17	規制庁コサクですけど、では出向者はどなたですか。
0:55:27	日本原燃佐藤でスガワラの私、これの方から止まった場合、今こちらの行動、先の候補を一緒になっているのです。
0:55:44	規制庁コサクです。では佐藤さんが電力での先行実績なんかも地権者であり、それを踏まえて、前例ないけど、こういうようなことをやったらどうかと思って整理を進めてきたということでもいいですかね。
0:56:01	日本原燃佐藤です。
0:56:04	一緒に検討して参りました。
0:56:08	規制庁コサクです。そうすると、電力性も心もとなくもっと
0:56:15	電力dしっかりもんだようなフェーズ、
0:56:20	強度で検討してもらわないとということ現年だからこの程度でいいやっていうようなことでは困るので、
0:56:26	その点よろしく願います。
0:56:31	それですね、
0:56:34	その二倍の妥当性っていうのを延々と議論しても何かあんまり科学技術的合理性がないような気がしていて、
0:56:42	それよりは、
0:56:44	その二倍の根拠で有効応力解析っていうんだったら有効応力解析をそのままやってやる手法として、24 ページのフローも設定されているんだったらもうそれでいいんじゃないかって気もするんですけど、なんでウエストカードにこだわるんですかね。
0:57:11	日本原燃佐藤です。
0:57:15	出発点がウエストカードにあったんでそれを追っかける形で有効応力解析の結果が出てきたのを見て、
0:57:29	もっとわかりやすく、
0:57:32	荷重の設定をしたほうがいいのかないかなということがありましたので、
0:57:40	Westカードにこだわり過ぎているところが
0:57:44	関係者の中では大分あったので、そのケースバイステップしたら、

0:57:50	うまく包含できていたということでちょっとお会いに使ってしまったところがあります。
0:58:01	コサクですけど、そういう1回行ったことにこだわってというのがこれまで半年も時間がかかってきた原因であって、状況で19-19ページで言うところですね。それでこだわるのもうやめて、
0:58:19	いや、やれるものはやって対応しましょうと。
0:58:22	いう方針になって、こっちのほうはそうなったわけですよ、片やそういう方針で結果を踏まえながら、適切に判断をしていくと言っておきながら、同じ資料の中でこれは前のやつに固執しますっていう資料が出てくるっていうのは原燃としてどういう。
0:58:38	スタンスで全体の検討進めているっていうことなんですかね。
0:58:49	日本原燃佐藤です。おっしゃる通り、地盤のモデルについてはアズイズ状態をちゃんと表現するという方針に変えていきながら、ちょっと液状化の評価については、
0:59:07	急いであろうと思われる。
0:59:10	有効応力解析を包含するような形のちょっと
0:59:15	／10 曲線を
0:59:19	考えたということでの科学的な馬郡政府といった点ではちょっと
0:59:27	考え方の統一が
0:59:31	できていないと思う指摘されて住所地しております。
0:59:41	どうぞ。
0:59:44	それを踏まえてちょっと今一度ですね、
0:59:48	有効応力解析を
0:59:52	設計するような形でちょっと全体の流れも統一できるような考え、方針をつくり直したいと思います。
1:00:04	以上です。
1:00:05	規制庁コサクです。
1:00:08	原燃としてトータル考えて高高ヒアリングなどを踏まえながら話をして再検討した結果としてこういう方針にしますということであれば、そういうポイントを明確に会合で説明いただければと思うんですけど。
1:00:24	一方で、先ほどカミデからも言った通りですね、
1:00:30	スケジュール感覚として5営業日前日の状態でコロコロ変わってというふうのが非常に対応しづらいんですけど。
1:00:38	今日の資料提出の時間っていうのもあるんですけど、資料としてはどう対応されるおつもりですか。

1:00:54	日本原燃佐藤です。はい。
1:00:57	ちょっと有効応力解析
1:01:00	法律があるものとして
1:01:06	それによって評価をするような資料構成に
1:01:12	大至急変えたいと思います。
1:01:22	規制庁コサクです。
1:01:27	30 ページは要らなくなって方針を述べてということになるかと思うんですけど、或いは 27 ページもか修正されるってということかもしれませんけど。
1:01:36	少なくとも全開までWestガードでやると言っていて、それが適切かっていうことを質問しているということもあるので、
1:01:47	29 ページに書いてあるウエストパート等を有効応力解析の結果っていうのは示していただいた上で、その結果方針としては改めてこうしますっていう説明をされるっていう形で理解すればいいですかね。
1:02:03	日本原燃佐藤です。そのように整理させていただきたいと思います。
1:02:10	はい、規制庁コサクですがこれもちょっと、では遅れないように資料修正よろしくお願いします。
1:02:16	日本原燃サトウ承知いたしました。
1:02:28	規制庁タケダですその他、確認事項コメント等ございますでしょうか。
1:02:44	はい。それでは審査会合資料の確認は以上とさせていただきたいと思いますが、資料修正なんですけれど、ちょっとどういうスケジュール感で再提出されるつもりか、次最終版にもう時間的になるんですけれど、説明いただけますか。
1:03:08	すいません日本原電不良ですとちょっと時間少々お待ちください。
1:03:38	日本原燃の藤野です。
1:03:42	夕方の 4 時ぐらいまでに送付したいと思います。
1:03:47	いかがですか。
1:03:56	規制庁タケダです。shotも今日前任可能なわけですけど、営業日前日になりますので、ちょっと用地は、
1:04:10	多分、厳しいと思うんですけど。
1:04:14	ちょっとこちらの担当のものとも確認はしますが、もう少し早く作業できないでしょうか。
1:04:26	次にフジノです。はい、15 時ぐらい今いろいろ整理をにちょっと対応かけていきます。
1:04:34	はい。
1:04:35	ちょっとすいませんが努力をお願いいたします。
1:04:39	それに関します評価しました。

1:04:42	規制庁タケダです。それでは審査会合資料の確認以上とさせていただきます。資料の修正のほうでお願いいたします。
1:04:50	それでは次メンバーの入れ替えがありますので5分ほどちょっと間をはさみたいと思います。
1:05:00	その上に理解しました。では
1:05:04	45分ぐらい再開でよろしいでしょうか。
1:05:09	日本原燃フジノですはいよろしくお願ひしますはいお願ひします。
0:00:00	録音開始しました。それであればイトウヒアリングを再開しますと議題が変わりましたので一応出席者紹介しますと、本町会議室からコサク、タジリオオオカ、カミデオオハシ、タカナシ等、WEBから棟Ⅱがね。
0:00:18	ナカガワになります。それが日本原燃の方から出席者の紹介及びと本日の説明の流れを御説明お願ひします。
0:00:30	はい。日本原燃側の出席者を紹介させていただきます。日本原燃のフジノです。
0:00:39	まず日本原燃側の出席者といたしまして、発災関係でちらYamamoto幾らいナバイワダテ
0:00:49	それからマツオカ、タナカタムラとヌマヤマシミズ、クボタタカハシ
0:00:57	エビナサカモリ、モリマツサイトウ、ハラダメトキのか。
0:01:05	最初のほうからですね全体でムラノaナガサワ、タカハシフジノMOXのほうからタカマツタニグチ、イシハラヤマダの経営タイプで対応いたします。
0:01:19	右上に資料がございます説明につきましては、今画面列挙させていただいてございますが資料としては五つございます。火報火災関係の00シリーズということで00010に共通急行火災の一番2番に関する設備の選定結果の資料、
0:01:37	あとは、4号として外部火災の00-01へ再処理の部分の00シリーズになります。あとは外部火災の補足説明資料としての航空機墜落による火災の防護席についてということになります。この、今お話した順番でご説明をさせていただきたいというふうに考えてございます。
0:02:01	規制庁の田尻です。今のお話だと多分株をゼロ0から説明をされるような形になるのかと思うんですけど、稼働てる0の前になんですが今お話あったように、外貨00と今日の目に明らかにその人停止された田巻モデルに関して、
0:02:16	資料を見る限り、あんまりちょっと理解を理解が多分予定されていないんじゃないかというところが結構ありましたので、先にそういったところで少し気になった点、こちらから指摘させていただいて外貨募ったりとか外部火災とか竜巻の担

	当の人にそのあと外貨での火災の 00 の話をすればそういうふうには直さなきゃいけないかっていう話にも繋がるかと思うので、
0:02:35	先に売価 00 と竜巻 00 関連で幾らかを指摘したいと思うんですけど担当部屋というふうには思っていますかね。
0:02:44	人間にイシハラでございます担当者そろってございますので、よろしくお願ひします。
0:02:50	規制庁田尻です。ではちょっとそれをワークに近いところからまず確認なんですけど、まずですね根本的な話になってしまつて恐縮ではあるんですけど
0:03:01	基本設計方針なので、まず大前提は、許可の方針許可で書いた設計方針に基づきながらやらないければいけない、今別紙 1 度において発電炉と比較しているのは例えば別紙 5 とかにおいても、まず自分たちでやらなきゃいけないもしっかり抽出した上で最後に必要なところを比較してやっぱり
0:03:21	これなかったよねって確認程度に使つてると思うんですけどそれに近いものだと思つていただきたくて強いて言うんだつたら 5P の使い方とか施工にらしいのごみの使い方とか実用炉の参考になるかなと思うので、前回のヒアリングで保安規定のところまで管理して
0:03:36	定めるだけでなく管理してきますよみたいな話も含めて書いてくださいねって話はあつたかと思うんですけど、あれ単なるごみの話であつて、今の竜巻とか外部火災とかを見る限りだと許可で書いたものを、が割とひっくり返してというか必要な記載とかも全体的に省かれて、実用に国保合わせにいったような形で、
0:03:56	うんですけど、この辺りの認識っていうのは、どのようになっているか根本すぎる話で申し訳ないんですけど、許可っていうのがまず基本できるとべし以上の説明とここでも書いていると思うんですよ、別紙 1 はあくまで基本設計方針の許可整合性発電炉との比較っていうのは、
0:04:13	事業変更許可本文添付書類の記載をもとに設定した基本設計方針であつて、発電炉の記載をもとに基本設計方針を設定すると言つてないつもりなんですけどそのあたりは認識されてますか。
0:04:26	人間にシェアでございます。共通的な考えをまず御説明させていただきますご指摘の通りでして、こちらの別紙 1 を作る際にはまずよろしくながらやつてるからそうなんですが、許可の本文添付書類を基に、
0:04:41	設工認の本文として約束する事項というのをしっかりと抽出して展開をしていくと、それは許可整合点を第 1 に考えて当然やると、今回発電炉との比較については、文章表現の適正化というのが別紙 1 の目的で書いてありますので、

0:04:59	それを目的にやるということで考えてます。それは別紙シリーズを作るときに、20年からこういう考えだということで説明もしてきましたのでそれがベースだという認識をしております。
0:05:15	規制庁田尻です。今言われた方針で竜巻と外貨をそれを方針で作って今この状態とっていいですかそれともその方針にそういうきれてなかったと思えばいいですか。
0:05:29	2000 日本原燃のモリマツと申します。今回の作業におきまして、その方針はできる限り踏襲しているものと考えておりますんですね、ちょっと冒頭の文章のところで多分書き直したところが多分あのちょっと論点になっているんだと思うんですけども。
0:05:48	一応タジリです。冒頭の話だけじゃないのでこちらの認識としては、許可の基本方針や許可で書いたものをの構成とか文字っていう色彩も行ってるとい認識なんですけどその認識がないと話が始まらないんですけど、
0:06:03	とりあえず、認識としてまず認識していただきたいのは許可のやつは生きてないと思います。それがこちらの認識です改めてこちらが質問形式でなかったせいで何か変な火曜日になりそうになったのもうやめてしまうんですけど。
0:06:14	なのでまず言ってもこれとは別に様式等が許可制御所説明書を作っておられると思うんでそこで書いておられると思うんですけど、そのところに置いて要は当然差分が常に生じてきてると思うんですけどそういったところも整理された人間としては整理しきって、
0:06:31	ると思っているんですけど、すみませんまたなんか当たり前すぎてちょっと質問になってないかもしれないんですけど。
0:06:37	外部火災のまずストアの構成につきましては、発電炉とですね事業許可の並びを確認した上で展開をですねちょっとその事象展開が変わっているところがございませう。これ公認においてですね。そうすると文書カーゴせえと事象の並び
0:06:57	については、展開を書き換えている形になっているので、発電炉のちょっと構成をですね、今年のことまでの議論を踏まえた上でですね、当事象の展開っていうのはちょっと並び替えて、事業主体、御説明と事業化からですね。
0:07:14	展開を書いているものとなっておりますナガサワ日本原燃のモリマツ。
0:07:18	一応タジリですね、多分今のところがまず根本にあつて、まず許可の並びがあつてで設工認の並びがありますっていうときに、例えば一番最初に内部火災イワダテ多分若干の混乱が生じて気がするんですけど、内部火災は少し特殊で、許可のタイミングで火災の審査基準で結構仕様に近いことまでずらっと書いていってっていう形があるので、

0:07:38	普通は注意がまず理由がないところがあって、何で別に理論のほうに合わせていってもそんなに違和感がない形になるんですけど、外部事象系に関して言うと、割とオリジナルの設計とかも入ってきてしまうことがあってとかのやつをむやみやたらにいじると意味合いが変わってしまうところがあると認識はしているんですけど。
0:07:58	要は
0:07:59	許可に書いてあるものと、設工認で実流とかがあった場合にどちらをどう優先するかどうかの考え方で整理されてますか。
0:08:10	日本原燃西原でございます。
0:08:13	ベースのもとと考えていることもそうですけれども、許可がトップバッターの優先事項になるというふうに考えてます。それに十分そういうきれてないのが今の外部火災竜巻も出したやつもそうなっていると思います。
0:08:29	そこをすいません。私のほうが十分趣旨も含めて説明し切れなかった結果だと思しますので、考え方をちゃんと統一見解として作業する方に認識していただいた上で作業ができるような形でもう一度仕切り直しをしたいと思います。
0:08:48	規制庁田尻ですとおっしゃっていただいたようにまずは許可が別ですよっていうところは認識していただいた上で、低悩ましいところがあったら作ってからじゃなくてもいいのでは意味ヒアリングとか言っていただければ、こちらの考え方を示せると思っているので、何かあまり作業を、特に外部事象系だと統一的にみんな作業すると思うんですけど、一つだめで、
0:09:08	でも共倒れっていうのもまた意味がない話になるので、その点はちょっと認識で対応いただいたほうがいいかなというのと、
0:09:14	あと、外部事象を独自ちゃ独自なんですけど、今の竜巻と外部火災の話があると思うんですけど、この前段に共通的な設計方針の話竜巻ところ多分散歩と3ポツ1外部からの衝撃より防護する設備とか低圧か何かどっかに書いてあったりすると思うんですけど。
0:09:30	そこを示さずにむしろだけ示されている状況になったりするんですけどその前段階の文章というのもどっかで聞いてるんですけど。
0:09:36	日本原燃西原でございます。案の状態を今あります。ちょっとチェックも含めてもできてないので、それも含めて早急にお出しをするようにします。ご指摘の通り、3ポツも頭があってそっからの展開になりますので、
0:09:52	ただいま時間がかかった理由はそこの中にその他ということで、ほかの細かい事象も入っているところの文章の構成とかも含めてちょっとチェックがまだできてなかったの、すいませんでこんなっちゃいましたということでございます。

0:10:07	規制庁田尻です。外部事象に関して言うところと内部火災みたいに完璧に独立みたいな形になっていなくて、全体方針があってそれにぶら下がる個別施設の方針があってという形になっていて、例えば発電所だと外部事象防護対象施設っていきなり出てくるのはこの前段の部分で外部事象防護対象施設でこうですよって言って竜巻だろうが、
0:10:27	それからサイトウが全部統一的な間に合ってるからこのような書き方になっていて、それを今、多分、再処理とかのほうに行くと、竜巻防護対象施設費とか外部火災防護対象施設とかっていうふうになっていてこれ前段でどうしてるのにかっているのが若干わからなかったりして、やっぱりまでそれぞれ個別に書いているそれでいいのかなっていうふうに思っていたんですけどそこは何か消されて統一的にかけますというふうになってるんですけど。
0:10:47	どう統一的に書いているのかっていうのがわからないとそもそもその書き方が変わったなら個別に書いてくれるっていう話になるかもしれないんですけど、その前段をパッケージ示してもらわないと何かコメントも正直しづらい状況になっているので、
0:11:01	何か細かいところを何でもかんでもって話Cからでも示して欲しいというのが前提で置いとくとして、全体として見れる形を出してもらえると審査しやすいかなと思うんでその点はちょっと考えていただければと思います。
0:11:16	日本原燃西原でございますはい、ご指摘の点、承知しました。全体でご指摘の通り今回外部火災で3ポツが3章の頭側に文書もできますよと言っているのもあるんですけど。
0:11:31	これやる場合は当然3ポツでどう書くか添付書類でどう展開するかっていうのがセットで話ができないと、どういう申請書のつくりになるが全くわからないので、そこも含めて、許可制5第1にした上で書き直すことも考えた上で整理をさせていただきます。
0:11:50	規制庁田尻です。データの濃度とみなされると思うんでそこは見直してくださいというのはまた確認でもいいんですけどちょっと幾らか先に確認しておきたいところがあるので、全体的に共通してなんですけど、今外部事象とかにおいて、別紙1rad発電炉との比較なんで発電の部分は四角枠囲いで、
0:12:08	赤オレンジかわかんないけどそういう意味でやってますよっていう形になると思うんですけど、実際にはこれの他に様式7とか毎月67が一定で許可制御説明障害って今許可との関連の比較違う答弁されてると思うんですけど、何かいいときはそれを盛り込んで盛り込まれたような仕様に別紙1になったときもあると思うんですけど。
0:12:25	特に火災とかだとそこが消えたりもして、では、別紙1でどこまで示そうとしているのかよ、別紙1で許可整合の観点の説明がつかきれてないだった

	<p>ら要旨記録などもあわせて見せてくれって話ならみたいな話になりかねないかと思っていて、どこまでこの資料で、要はの許可整合もこれで見れるし、その上で発電炉との比較</p>
0:12:45	<p>細かなところは多少様式 67 に飛ぶことあるかもねみたいなのはあってもいいかもしれないんですけど、そのあたりってどのように考えてますかね以前に、凡例でダイヤ 6 台や何番数字とかの、要は熟してるんで消しますよとかそういうやつの色分けの話とかの所凡例とかって欲しいんでしたっけって話も 1 回出したことがあったかと思うんですけど。</p>
0:13:04	<p>今日はこの資料の位置付けなんですけど今結果共通 00 シリーズを整理されてるんですけど、この資料だけで完結できる資料になっているものなのかそれとも原燃としては一緒に洋式ろくな見て下さいねって思いながらやってるかによってこっちの今見なきゃいけないものがどこまでっていうのがちょっとわからなくなってきたところがあるので、そこはどちらでいこうとしてますか。</p>
0:13:23	<p>前の話だと、基本的にはこういった中に許可との許可成功の話も大体読めるような記載になっているのかなっていうイメージだったんですけどそのあたりってどうされようとしてますか。</p>
0:13:34	<p>すいません、日本原燃のカサモですけど、ちょっと今回の火災の作業するときに、</p>
0:13:41	<p>一番右端の発電炉工認の基本設計方針以外は洋式ならと一緒に情報入れ込んでるんですけど、備考にその様式 6 で整理した記号っていうのが入ってまして、それから様式の着けない暖気状態でこの別紙 1 を出すと、その記号の意味がわからないということで直結作業をしました。</p>
0:14:01	<p>ただ、そのアンダーラインとか基本設計方針等の許可の整合というのは見れる形ですが、</p>
0:14:12	<p>クドウが書いてないと稼働塾で書いてないとかそういった理由の記号を個別に力を消したので、そこはちょっと様式 67 を見ないといけないという形になります。ただ、もともにも規模戻して栄養士記録をつければとか整合見れる形になりますので、</p>
0:14:29	<p>今回 6 を着けない状態での資料ということで、ちょっと消してしまった方がわからなくなってるっていう状態です。以上です。</p>
0:14:37	<p>規制庁田尻です。結論から言うと書いていただいたほうがいいというのがあって今何やってるかっていうと、うちは基本設計方針が正しいかどうかみたいんですよ。</p>
0:14:46	<p>今後のにはこれで、そのときに、別紙 1 で実用炉の比較も当然ありやいと思っんですけど、その前段部分の様式 675 ってよろし黄色くなって、多分、</p>

0:14:56	何月。
0:14:58	昨年度ですね多分出てきてたんっていうレベルになっていて修正は見せてもらったのかということを見せてもらってなかったりするんで、
0:15:04	要はこれ見ただけ基本設計方針の話が終わらないんだとしたら基本的方針の話ずっと残り続けるんですけど、本文固まらないと添付の話にならない店舗の話終わらないとは本文店舗ぐらいと補足の話に行けないので、
0:15:17	要は現年度手間としてせっかくこれ作ったんだからこれで完結して決めてます。基本設計方針ぐらいは細かな話は口頭で補ったり別資料かもしれないんですけどっていうんだったらそこはそこでもいいと思うんですけど、ここから情報系されすぎると、だから今単価契約に近いと思っていて、ではこれで許可整合が未許可の基本設計施工の基本設計方針確認できる資料にしてください。
0:15:37	なんか一番根本です。そのあたりだけは多分認識ずれると、今後もちよっと面倒くさいので、その程度の認識は今は理解いただけたということでもいいですかね、遊技ニシヤマございますはい、理解しました対応させていただきます。はい。
0:15:55	規制庁田尻です。若干様式6ナカガワ許可整合性説明書に近い話に少し入ってしまうんですけど、今日はちょっと竜巻の資料とかにおいてなんですけど、竜巻の基本設計方針で発電炉と比較されてたりすると思うんですけど。
0:16:10	これ等にだと思っんですよ。僕出での冒頭に見てたんですけど、多分通りだと思っんですけど、正直投入の基本設計方針という形通りの竜巻の設計方針で独特なんですよ。
0:16:22	敷地境界が建物に近かったりするせいで、敷地外からのクレームもできますよという話を見ちゃったりして、そこは盛り込んでたりするし、普通に車壁にぶついたりもしたりしているのでもちよっと特殊なものになっていて、
0:16:34	今の全部のやつをこの病院に各等も見づらくなるんでそこは構わないんですけど、発電炉と比較されるときになんですけど、
0:16:41	特に以外って見てますか、或いは1社にこだわりすぎるとローンを多分ちよっとどっちの評価を踏まえて様式六、七か基本正当性御説明書かわかんないんですけど、例えば複数社と見てると思うたりはするんですけどそのあたりってどのように作業されてますか、特に電力の方がおられたらそのイメージはわかっておられるかなと思ってるんですけど。
0:17:02	日本原燃のサカモリでございます。当人以外にですね関西電力の大飯発電所の基本設計方針を見て作成はしております。以上です。
0:17:14	規制庁田尻です。見ておられるということであれば、多分比較した対象も場所によっても違ったりすると思うんですよ、ノアに

0:17:23	別紙 1 の書き方だけになるんだったら最後にそこまでこだわりはないんですけど、要は比較してるんですけどその比較対象と比較してないっていう話になると何かキシノかわからなくなってしまうので、この部分他社の部分抜粋でも別に構わないんですけど回転ばそこで比較しましたっていうのを示しやすいかなと思うんで。
0:17:39	見ておられるんであれば見ておられるで構わないんですけど。BCG近く作るんだったら有効に作っていただきたいなっていうところがあるのでその点も認識だけいただければ作業にこれに無駄に時間かかって資料提出遅れぐらいたったらとりあえずすぐにとは言わないんですけど、
0:17:54	なんかせっかく作るんであれば基本設計方針等
0:17:58	許可の話では消したりなんか、例えば未確定だけどその情報は全く入れずにとかってやるぐらいたったら必要な情報を盛り込んでいただいたほうが綺麗な資料になるかなと思います。
0:18:09	輸入者でございます。
0:18:12	ご指摘の点は理解をします。0 作業を進める中で、最終的な形を作るときに、そういう形に持っていければと思います。まず東海第 2 を比較の例として挙げさせていただいた上で、ただ記載がやや東海第 2 特殊な場合は、当然我々、
0:18:31	お顔見ながら特殊だという認識をしますので、噴き出しとかの中でですねそんな特殊事例であるということがわかるような理由を書かさせていただいて展開するとか、可能な限りそういうことがわかる工夫をさせていただきたいと思っております。
0:18:47	作業の中で当然BDBAPWR電力のほかの他社のやつも見たりですねして、それが特殊なのかそれとも皆同じように書いてるのかっていうのも含めて見ますので、そういうものもベースに記載を拡充させていただければと思います。
0:19:03	規制庁田尻ですお願いします例えばの話も竜巻の右下 8 ページとかで許可で許可を受けた設計飛来物っていうので、もともとパイプとかの話書いて鉄パイプ消されていて取りに合わせましたってなってるんですけど、多分KKとかだったら、他のパイプとか、
0:19:20	パイプだけじゃなくて多分ほかにも複数幾つか書かれたりすると思うんですよ、なんであの者によって実施多分書き方違って提供の書き方の時点ですれたりはすると思うんで、自分とこの許可の解体計画はどこにいつてるっていうのを踏まえながら多分やっていただければより先行炉を活用できるんじゃないかなと思うんですのでよろしくをお願いします。
0:19:37	ですので、別紙 1 でちょっとなかなか話議題にちょっと詰めて自分からべしETC税大きく 1 最後に 1 点だけなんですけど。

0:19:44	基本設計方針等使用表の関係っていうのってどこかで示してもらえるかなんですけど、特に今回の外部火災と竜巻に関してなんですけど、外部火災であれば耐火被覆の話があるし、竜巻であれば竜巻防護ネット、防護ネットだけなら5番だけ母岩も含むのかちょっとわからないところがあるんですけど。
0:20:04	そこで設計方針として書こうとしているものと仕様表で担保しようとしているもの関係っていうのがいつからいつどのような形で確認できるかっていうところなんですけど、特に耐火被覆とか妥当仕様表になりまで書か、ターネット一緒ですね。結局その両方に関して言うと、
0:20:20	使用表で何をADEKAから基本設計方針ここまでですよっていうところがわかりづらいところがわかっていなくて今そういうのって整理されてますか。
0:20:29	日本ユニシス社でございます。資料の形からいきますと、別紙1と別紙2を組み合わせることでそれはお示しできると思っております。別紙イナバで集票対象設備であったり商標として何を項目として書かかというところを別紙の中で展開しますので、
0:20:48	それと組み合わせると、ある程度の範囲では、それぞれの関係が見えるかと思えます。
0:20:57	規制庁田尻です。そういった意味で言うとあまり内部火災があって、特に八名などの消火感知ところが使用表のメインになっちゃうので、何かあの時点の別紙2で見づらいだけなのかもしれないので、一番懸念してるのは先ほど下へしたように、
0:21:14	耐火被覆の話と、竜巻防護ネットの話、ここに関して言うとべしの整理して見れるようになってるっていうんだったらそれは早めに見せていただければいいと思ってるんですけど、もしそちらに無駄な時間かかるんだたらどうしようか肯定しますよとかっていうイメージでもいいので示してもらえると多分、
0:21:29	ペネ補足で考えて補足で資料でつけてもらってもでて構わないんですけど、でもその議論をライト強制希望に固まらないような気がしているので、外部火災はすみませんミスも担当してるのでそっちからまたあるかもしれないんですけど、竜巻防護ネット化に関して言うと、
0:21:44	基本設計方針において防護板と建値等、飛来物防護ネットって書いてあるんですけど、県においてこの飛来物防護ネットっていう中に竜巻防護対策のネットの中に今補助防護版とか防護板をつけてるやつをこちら読もうとしてるのかっていうと多分設計方針として板読めないと思っていて多分水位飛来物防護版のほうで読むような気はするんです。
0:22:04	クドウじゃあいつ使用表としてどっちとして登録してるのかっていうのもまた整理しなきゃいけないと、あとあいつ使用表示は防護ネットの方にいますよって

	うふうになると設計方針との関係またよくわかんなくなっちゃったりする気はしているの、
0:22:16	特に補助防護版結局防護板と同じように扱われようとしているのかなっていう気もしているんですけど、その辺りの整理というのをちょっと確認したいなと思っているので、こちら早目に確認できると助かるのでその点よろしく願います。
0:22:27	その他
0:22:29	何点か 00 前に
0:22:32	外部火災とか竜巻関連のコメントある方。
0:22:36	経常谷ですちなみに今スケジュールとしてはどのようなタイミングで今後説明していこうとしてますかね。特に外部火災とか竜巻に関して言うと別紙 1 は出てきたんですけどその他の使用に関しては遅れてきますよっていう話になっているので。
0:22:51	今回別紙 1 に関しても多少修正しなきゃなという感じだと思っているんですけど、どのようなスケジュールを考えているか一応 7 月の 30 日にヒアリングは竜巻とかで予定されたと思うんですけどそのタイミングまでに何かお示しし得るのかとかも含めて説明いただければ。
0:23:18	少々お待ちください。
0:23:37	はい。
0:23:41	日本原燃のエビナです。すいません。疼痛シリーズの投資作成状況なんですけれども、ちょっとまだスケジュールがですね明確に見えてない部分がありますんで、そちらについてはですね早めに該当するようにしたいと思います。以上です。
0:24:02	規制庁田尻です。スケジュールが見えてないっていうのが何で見えてないんですけど作業はもうやることはこれで決まってるんだけど、それは結局いつまで終わりが見えないという話をしているのかそもそもどうしていいのかわからんような状況になってるかで
0:24:19	では、原燃が持ち続けても仕方ない話にも多々あると思っていて、今って何で、その見えなくなってるんですけど。
0:24:31	日本原燃のエビナです。書き方のところでですねちょっと我々もまだ悩んでいるところがありますんで、そちらが固まる、
0:24:43	ところを要する見ながらちょっとスケジュールを調整しているという状態です。以上です。

0:24:51	規制庁田尻ですね、悩んでるっていうのは何か具体にも悩んでるポイントが出てるもんですから、であればもうちょっとそれをやったほうがいい気がしていて何か。
0:25:00	今悩んでいるっちゃうやつが自分たちで解決できる話ですかってのはできないだとなっちゃうでしょうよと、今まで今の段階で出してもらって、この部分はこう悩んでるんで検討している最中ですかってしてもらえれば、何でこんな書き方なんだっていうチーム費やしないし悩んでいるところだけこういうことですかというふうにも聞きますし、
0:25:20	要は何かそのセット版のように出されればそれうちもなんでこんなものっていうふうに聞くんですけど、できないものだけをとりあえず今組めるところとして形だけでも見てくださいというのはそれはそれだと思っているんですけどそのあたり、どのようにお考えですか。
0:25:35	日本原燃のエビナです。本日のヒアリングで500をやることによってですね、ある程度固まるかなと思ってましたので、それを踏まえてスケジュールを設定するということで考えていたところなのでですね。
0:25:52	ちょっと悩んでるっていうのはちょっと表現があまり正しくなかったです。以上です。
0:25:58	規制庁コサクです。そもそもですね、今日のヒアリングで固まると思っててっていう。
0:26:05	ので言うんですね、若干中認識がずれているのかもっていうところで言うと、今日のヒアリングですすぎスケジュールを提示いただくつもりだったんですが、こちらは、
0:26:19	それが今のエビナさんの言い方だと、今日のコメントを踏まえた対応方針を1週間かけて検討する中でスケジュールを整理しますというふうに思っていたように聞こえました。
0:26:31	一方で今日提示いただいた台数月曜日の審査会合の資料では補正までのスケジュールが提示されています。
0:26:44	そのスケジュールに則った対応が今取れてるのか。
0:26:48	っていうのが甚だ疑問なんです。
0:26:53	エビナさんは、
0:26:55	資料としてそういうのが出てるっていうことはご存知ですか。
0:27:02	日本原燃のエビナです。はいいつぐらいまでに疼痛シリーズをとという話はですね理解してるつもりでございます。

0:27:15	規制庁コサクですけど、理解しているのだとするとですよ、今日のかぼ 00 の話を踏まえてそれぞれ準備を始めていくなっていうスケジュールは到底あり得ない手始め類が
0:27:29	書かれてるんですけど。
0:27:32	どう進めるつもりでいるのでしょうか。これはちょっとすいません、エビナさんだけじゃなくて全体ではあるんですけど、特に外部事象部分が非常に精査をしていかなきゃいけない部分だと思ってて再先ほどタジリが言ったように、
0:27:49	仕上げていくというよりは、こういうような書き方でいいかみたいに話をして 1 週間週間かけるわけじゃなくてですね。タイムリーに対応いただいたほうがいいんじゃないかなと思うところが、
0:28:02	少なくとも今提示されてる資料を見ると思うんですけど。
0:28:06	どう、このタイムスケジュールに載せるつもりでしょうかね。
0:28:12	日本原燃の石原でございます。先ほど審査会合資料でお示したスケジュールは当然認識をした上で、もともとからですね別紙シリーズの作業は当然全条文展開をして進めております。
0:28:29	ただ先ほどエビナが言った火災のやつをと言ったのはフォーマットという意味の変更という趣旨の部分が大きくてですね、内容としては、ベースになるものは、それぞれの条文で作られていますので、
0:28:45	出し方を工夫をさせていただきたいと思います。当然そのお出しをしたスケジュールの中で、我々としてはそういうやり方も含めてスケジュール感を考えていたさせていただいてますので、別紙すべてがそのうというよりは別紙 1 で基本設計方針の書き方とかですね別紙二、三、
0:29:05	添付書類側の展開というのも含めて、分割申請の計画に反映する部分というのを多少多少ずらしてダストをだしてそういうのも含めて、なるべく今持っているものを出しをしてヒアリングで書き方なりのご相談をさせていただくようなフェーズを
0:29:22	作りたいと思います。そういう意味ですいません今日の時点でスケジュール感をというお話をするしないといけなかったところは当然ですし、もともと今日スタートというよりもフォーマットの修正をする作業にですね、大体 1 週間。
0:29:39	ちょっとわかるかなと思ってました。ただそれはあくまでフォーマットの修正ということで書いてることは変わらない。変えるところではないところもありますんで、8 月の頭欧州からですね準備できたものをお出しをするというのがもともとパッケージを作ったというときには考えてたんですが、
0:29:59	先ほどのスケジュールということも考えて五月雨式になるかもしれないですけどこのパワーと出しているかがちゃんと明確になるように、あとステータスがち

	<p>やんとわかるようにして来週からでも準じ出せるの方させていただきというスケジュールで調整をさせていただきたいと思います。</p>
0:30:21	<p>規制庁コサクです。少なくとも月曜日の会合で、そのあたりを明確化の図、図だけだと、実現可能性が全く見えないので、そういった</p>
0:30:34	<p>ただ、実際どうなんだとどう進めてこのスケジュールのせるつもりなんだと。</p>
0:30:41	<p>いうことは、会合で説明いただく必要があろうかと思っておりますんで、細かい御口頭でになると思うんですけど、合わせて今の言われて言われたスケジュールっていうのは月曜日にスケジュール表として提示いただけたらいいですかね。</p>
0:31:01	<p>有限会社でございます</p>
0:31:03	<p>同じをさせていただきます。はい。</p>
0:31:08	<p>規制庁コサクです。よろしくお願ひします。これまでも何度かベース共通 0、共通じゃないや、各条-00 シリーズについて、スケジュール表-別紙っていう形で出されたんですけどすごい中途半端なものしか出されていなくて、</p>
0:31:25	<p>別紙 1 だけとか別紙 4 だけとかっていうことで、いつそろんだというようなことが全くわからないというようなものが</p>
0:31:33	<p>一時期出ただけになっちゃっているんで、月曜日に一式そろって</p>
0:31:40	<p>今後の進捗管理ができるというもので出していただきたいと思ひます。よろしくお願ひします。</p>
0:31:46	<p>日本原燃者でございますはい対応させていただきます。</p>
0:31:57	<p>超過です。外部火災関係で使用表のところ、ちょっと外貨 04 のほうで、こういうふうに書きますっていうのを示していただいていたのでちょっとそこを先にやってしまいたいと思ひんですがよろしいでしょうか。</p>
0:32:12	<p>当該か 04 の 18 ページ、参考として使用表の記載についてというのをつけていただいていた、</p>
0:32:20	<p>回復のことをこういうふうには仕様表で書いていきますっていうようなことがまとめられてはいるんですが、施工範囲がですね、これ構造に追加するだと、構造はもう完全に添付書類なので担保事項にならない。</p>
0:32:37	<p>イトウで施工範囲を担保するためにはやっぱり本文でこういう施工範囲ですよっていうことを示す必要がありまして、</p>
0:32:48	<p>そこを示すためには必要離隔距離表とか、そういったものを示すことで、</p>
0:32:56	<p>こちら担保できるという認識なのでそういうのを本文の風評とかですな何か工夫して、ちょっと議事ちゃんと議論を本文のほうでした上で最終的に当こういと想定範囲図になりますよっていうのを構造につけるっていうのであれば、</p>

0:33:12	こちらとしては納得なんですが、その辺どういうふうにか整理されていますでしょうか。
0:33:20	日本原燃のサカモリでございます。すいませんちょっと少し勘違い節のところがあるかと思えます。すいません欠陥をですねどういうところによっていうすいません図面をちょっとつけばいいかなとちょっとあいに考えてるところはあるのですけれども今先ほどの御指摘を受けまして、
0:33:37	ハニーズのですねどのように設定したかっていう考え方をきちんと本部に載せる必要があるという御指摘だと思いますので、今ちょっとすいませんジャストアイデアですけど、基本設計方針あたりにその考え方をきちんと書くっていうのがいいのかなというふうに今考えている次第でございます。以上です。
0:33:57	はい、規制庁川です。本文でちゃんと展開されていて、あと多分必要離隔距離表は、
0:34:04	担保事項としてあげたほうが整理がしやすくなると考えてますので、その辺ちょっと工夫してもらいたいと思います。
0:34:13	あと、上塗り材とかナカムラ理財とか、そういったところに対しても、機能が要求されているものと考えてますので、そういうところもなく、やはりどう本文側で何かしらで
0:34:28	担保する機能を担保するという意味では重要なと思ってますので、
0:34:33	その本文で何を
0:34:36	どんな機能を担保するかということをしっかり考えた上で、また整理していただければと思いますこの辺今度補足説明資料とか意識を確認するときに、どういうふうに整理したかっていうのもしっかり確認させていただきますのでちょっと頭出し程度で、
0:34:52	させていただきますのでよろしくお願いします。
0:34:56	日本原燃のサカモリでございます。わかりました。ちょっと考えて結果をお示ししたいと思えます。以上です。
0:35:07	規制庁中ですけどちょっとコメントと重なるところあるんですけど今の外部火災の仕様のところで言いますと、
0:35:18	まずなんか距離をつけるっていうのはそれでそういう案もあるとは思いつつですね、まずは
0:35:26	少なくとも何か影響なんどこになりますっていうところだけでは全然担保になってないのでまず担保すべき事項というのが何かというところを整理した上でですねそれを本文に書くという事に当たって基本設計方針としてどうというふうにか書くのか、集票としてどう書くのか。

0:35:46	場合によってその仕様表にですねある程度表現できればそれはそれで層を完結するかもしれないし、ただ、地表だけではなかなか表現しづらいというところであればですね最終的にはその主要表にですね別紙としてですね離隔表をつけるとかそういうやり方も
0:36:05	あるでしょうし、いろいろなことが考えられると思うんですけど、そういうその担保すべきにものというのをですね整理した上でですね、どちらにどこまで書くのか、そういうところをですね、次回の
0:36:20	外部 0004 ですか。そこら辺にですね結局基本設計方針の本文等を使用表をそこらをセットにしてですね、説明いただければと思いますがいよろしいでしょうか。
0:36:40	日本原燃のサカモリでございます。すいません、ちょっと確認なんですけど先ほどおっしゃった担保すべき事項は何かっていうのは、18 ページのですね、使用表の四角学校医の一番最初の白丸のところまで 3 点ちょっと挙げさせていただいたつもりなんですけれども、
0:36:58	ちょっとこれ不足しているという御指摘でしょうか。この 3 点のうちのだから特に今議論となっているその塗装範囲ですね。
0:37:08	塗装範囲を単にその影響のあるところによります範囲を塗りますというだけでは今の案でそういうふうになってると思うんですけど、それを具体的にそれを担保するために、どこまでを各
0:37:24	かというその部分について行ってます。
0:37:28	日本原燃のサカモリです。理解いたしましてちょっと説明が足りてないというふうに受け取りましたのでもう少し具体的な記載を持って説明させていただきたいと思います。以上です。
0:37:40	規制庁中です。了解しましたって後を話戻って全体的なその問題点というところについても少し重ねてコメントしますと、先ほどタジリから説明した通りですね、何となく印象としては実用炉に合わせ過ぎていて、結局
0:38:00	ちゃんと会計たものが見え消しで今回示されていますけど、せっかく書いていたものが消されてしまっているようなものもあったりしてですねある程度なんか実用に引きずられてそれに合わせた結果ということになってるかと思います。
0:38:16	結局少し軌道修正ということでですねその設置変更が既用語変更許可本文添付とこういうものを中心にですね、記載を考えればおのずとその修正すべき方向性も見えろと思いますし、
0:38:34	そうした場合にですねその実用炉と構成が多少ずれてくるところはあるのかなと思うんですけど、それはそれにですね構成の違いが多少ありつつですね

	必要なものはちゃんと書いていただくということかと思いますがそういうような修正の方向で検討されると。
0:38:54	いうこと。
0:38:56	が重要かと思えますそれとあと
0:39:00	航空機墜落火災のところですねちょっといろいろバラバラ見てみると、その整理資料で今こんな書き方になってるので、こうしたいと思いますとかっていうのが表記が結構あったりしてですね。
0:39:16	特にこれあの実用炉とは関係ない部分の記載で特に目立つんですけど、ここもですね中整理指導で中心に書いてるんですけどあくまでも設置し、事業変更許可を中心にですね、それは検討していただく。
0:39:35	話であって、何となくその余計なその設計方針以外のですね何かこういうことだからこうしますみたいな理由的なものを結構書いていたりして、そこはですね全体を見渡せばですね、明らかにちょっと書き過ぎてるとかですねそういうところはあるのかなと思っていてですね。
0:39:54	それは個々人の担当というよりは、他の外部事象とかですね基本設計方針その他条文も含めてチェックすべき言い方がちゃんとチェックしていただければですね、明らかにどこまでを記載すべきかというのは、
0:40:10	これまでの共通のですね、ヒアリングで十分議論してきたはずなので、そこはそういうことも留意してですね修正していただければと思います。以上です。
0:40:21	上限 2 社でございます。記載上の吹き出しのところで適切でない記載もあります。それは、すみません、お出しをしてから認識をしたというのが私の右下の立場でしたただ、おっしゃる通り共通分シリーズで毀損設計惜しい確保と添付書類がこと。
0:40:40	それぞれ役割分担幅を持って主要競技確保というのを、考え方は決めてますので、それに沿った形で本分として約束すべき事項かどうかというのを作っている方以外の人間にちゃんとチェックをするような体制をちゃんとつくります。
0:40:57	その上ではしますようにさせていただきます。
0:41:00	はい、規制庁中ですよろしく申し上げます。
0:41:04	規制庁コサクです。今の点は
0:41:09	許可本文添付といったところの体系の中で、設計の考え方っていうのを体系的に示しているはずなのでそれを詳細設計ではで設工認の基本設計方針でも持っていきたいと思います。
0:41:25	いうこと。

0:41:26	ですけど、その上で特に外部火災については初層範囲の関係からいろいろと基本ロジックというのを整理をしてきたということなんですけどその基本ロジックはそもそも許可で言っている方針のもとにある。
0:41:45	それを詳細化するときのお話だということで、
0:41:50	許可本文添付で、
0:41:53	書いてあるところの部分の具体化だったのかっていうのを考えを整理をすればですね、この図と基本設計方針の体系の中うまく落とし込めていくと。
0:42:02	いうことで、その中でどれだけ基本設計方針の具体化をする必要があるかということを考えて提示をいただければというふうに思っていますので、基本設計方針でわからなかった部分っていうのを詳細化したものが添付書類ということで、
0:42:20	別紙4のほうでその辺りを、こういうその部分はこういうふうに提示していきますということが見えてそそれでも具体化をさらに補足するのが補足説明資料ということで別紙5でしたかね。
0:42:35	いうところでよりその分解した御説明していきますっていうことがわかるようにしていくということなので、
0:42:43	その認識を改めて
0:42:46	していただいて、先ほどお話した月曜日のスケジュール。
0:42:52	2、
0:42:53	応じて提示いただいてヒアリングしていければというふうに思っています。もう1点その前に話になった本文事項としてっていうことなんですけど、
0:43:09	先ほど話だと、ずっと国施工範囲についてということでしたけど、途中でⅧ層の下の理由は何みたいな話で言うと施工範囲ではなくてここで言えば、
0:43:23	被覆材。
0:43:25	の衛星の塗装材の性能の部分に関係してきたりということがあるのでそれぞれどういうところでどう表現すべきかっていうのを考えていただきたいというふうに思いますんで考えるに当たりですね、
0:43:40	やってきていることを事細かについていうことではなくて、やはり設工認として大事なものは設計として固まり切ったものであればその結論が書かれると。
0:43:53	いうことなんですけど、固まり切れなくて現場施工においてこういう考えで適宜やっていきますというものであれば、その適宜やっていくやり方を書く必要があると。
0:44:05	いうことです。何でもかんでもを後者のほうでやってしまうと、現場施工での管理が非常に大変になって、使用前事業者検査も大変使用前確認も大変ということになってしまうので、

0:44:20	どの程度設計で納め切れるか。
0:44:24	どこは現場に下ろしていくかと。
0:44:28	いうその線引の考えてるのは非常に大事なものだと思っていますので、その点で今後も考えながら対応いただきたいと思っていますので、その観点である程度設計で整理してきます。
0:44:44	仕切ってしまうと対応するというので
0:44:48	現場確認のときに、離隔が適切になってるかというのを計算値を持ってきて、
0:44:55	そう距離を測って、それ計算値との比較みたいなこととする。
0:45:01	のではなく、ある程度一律に整理をして対象で見れるようにするという意味で、離隔表をつけたらどうかというのには付ける場合はそういう考えなんですけど。
0:45:15	そうすると今のRI架空の蹴っ今日の表で示されている結果っていうのは、具体的な部材の厚さごとに細かく書いてあって、それだと結局現場での対応がすごい煩雑になると。
0:45:30	ということなので、をつけるという判断をするときにはもう少し類型にするというかですね、
0:45:38	何ミリから何ミリの部材については何メートル
0:45:42	というのは少し枠で判断をして買いに家確認をしていけるような体系でっていう考えもあると思うんですよ。
0:45:52	あくまで例ですけどね。そういったところで設計でまとめるところ後段に移すところと、
0:46:00	いうのを意識して整理をしていただければと思います。よろしくお願いします。
0:46:11	はい。日本エビナです。サトウいただいたコメントを反映したいと思います。措置しました。
0:46:25	規制庁田尻です。一応これで火報じゃないほうの00に関してもこういうふうにやってくさいって話は出てきてこれに関しては、来週にスケジュールが示されるんだと思うんですけど今介護示そうとしているスケジュール考えたら、また近いうちにヒアリングとか週提出があると思うのでそのタイミングで聞くとして、
0:46:44	砂防00の話、2次入るのかなと思うんですけど。
0:46:49	と原燃から可能00何か説明されるようなことがあったような気がするようなことを先ほど言われたような気がするんでお願いします。
0:46:57	日本原燃石原でございます。ちょっと時間も大分押し迫ってきたので、簡潔に今回

0:47:05	共通性ニーズから受けたこの 00 シリーズでフォーマット前回のヒアリングでのやりとりをさせていただいており、添付書類側の展開が具体がわかるようにということでは特に別紙 235 のフォーマットを維持して必要な情報入れ込んだと。
0:47:24	いう形に構造材今回の火災はさせていただいてます。特に別紙 3 ですね、別紙 3 のほうで、添付書類の目次とかの関係でどの申請範囲で申請大会でどこまで、どこを出すのかというところの丸三角のバーの表ですね。
0:47:43	これを設備等の展開も含めて何が変わるのかがわかるように、展開をさせていただきました。それがなるべく可能な限りうまくメッシュごとに行けるように別紙 3 のところの添付書類の校正というの、メッシュを区切って必要な記載を拡充したということでございます。
0:48:03	あと別紙 5 につきましては、補足説明資料の展開のところですが、以前から書きたいと思いつながら、なかなか書けていなかったところもありますけども、内何を拘束するのかという理由を付した上で補足説明資料の番号書いて、
0:48:20	どの拘束が出るかというのを別紙 5-①番のシリーズで展開をしています。さらに別紙 2 の②のシリーズでは、それを発電炉との補足説明資料と横並びがとれるように知恵を比較をすると。
0:48:37	いうベースができるようなフォーマットに直してますのでプラスする前回ありました発電炉の補足説明で使わないここはうちには適用がないと思うのは、とした上でその理由がここバラかなり薄かったので、右上を拡充してます。
0:48:56	0 補足説明資料の内容を見ながら、なぜこれをうちの適用にならないのかという理由を付しているということでございます。また別紙 5 のほうの③番は先ほどの別紙 3 の添付書類と同じように各申請回ごとに
0:49:11	どの補足が関係するのかということの展開をさせていただきましてはこちらもその理由はわかるような記載を足した上で、それぞれの申請かじり展開をしたということでございます。冒頭の御説明プラスあとは担当側から追加で御説明させていただきます。
0:49:31	はい。日本原電のイワダテでございます。そうしましたらを 7 月 16 日に提出したかぼ 00-01 と 02 の再処理と MOX の資料でございますけれども、
0:49:44	Rev3 のほうでどちらも 16 日に提出させていただきます。テーマを追加で御説明させていただきたいの中で、ちょっと今後ですね、記載を適正化したいというところっていう部分にちょっと包括して系統御説明差し上げたと思います。
0:50:01	あと別紙 1 のところですね、発電炉との差異ということでオレンジの吹き出しテキストボックスで記載しているところがございますけれども、例えば通しページ 10 ページのところの

0:50:14	事業許可変更音波すいませんとか棒 0002 ベースで御説明させていただきますそちらの通しページ 20 ページの、例えば典系と事務局は、事業許可の添付 5 の辺りで黄色いテキストボックスあるんですけども、今の
0:50:29	例えばその、
0:50:30	差異の理由を書くときにですね、議の基準上のさがあるのかってあるとか、また施設特有の設計上の差異があるのか、またその許可の言い回しも踏まえての差があるのかといった形でのカテゴリよふうに書いた上でですね、下に具体として記載しているところがあるんで、今具体的な了解生きる部分があるんですけども、
0:50:50	ちょっとそういったところで、そのカテゴリした内容とその具体で書いてある部分、例えばその 10 ページのところと言うと、冒頭で、
0:50:57	基準の違いつて書いてるんですけども、その中の具体に行くと施設の違いつとか、ちょっとそういったところでその線の底が出た部分がありましたので、ちょっとその部分のさあ分であるとかですね、記載についてはちょっと拡充を今後また成型体というふうに考えてございます。
0:51:11	あとすみませんちょっとこちらはほぼ 0002 のMOXだけの話になるんですけども、例えば通しページの 19 番、19 ページのところとかで備考のところですけども、別のページから引用してますということで買っコピーなページからと記載しているところにつきましては、
0:51:28	ちょっとページにしてるんですけどもすいませんけど関係でちょっと 1 ページずつ、1 ページ前後ちょっと数字がずれてしまうところがありましたのでちょっとそういったところは適正化等を考えてございます。
0:51:40	PCTにつきましては以上で別紙 3 のところの通しページの 153 になりますけれども、ちょっとここもですね。はい。
0:51:49	添付書類のも苦情を踏まえて当月 1 回 2 回 3 か 4 回どの会議シミズのかと丸三角バーでコスト流しているところがございますけれども、そうサトウ術として約 53-6.2. 1、ここの系統分離の話ですね。
0:52:05	この第 3 回のところで参画としてその追加事項なしとしてるんですけども、ちょっとここも第 2 回でまず初めに説明するようにはしていたんですけども、第 3 回のところの記載で第 1 回でというところで通す正しくは第 2 回となるところがございますのでそういったところはちょっと適正化したいと。
0:52:21	考えてございます。
0:52:23	あと大きく変えたところといたしまして別紙 4 の
0:52:29	ビジョンの通し番号 21083 のところとてかく細胞計画ですね、MOXの場合箱物などでということでこれまで検討設備が出てくる、2 回以降でお示しするとし

	てございましたけれども、そこについてもかけるところでどういったところで別紙 4 のとこで火災防護計画の内容を追加した形で終える等を示しております。
0:52:47	個別としては説明は以上になります。
0:52:54	規制庁田尻ですと時間も時間なので妥当なんですけどまず別紙 1 に関してなんですけど、備考欄からすいません許可との話し合いとか携帯でちょっとまた戻るという前提でサトウの比較ができるようになってきたかなというふうに思ってます。ただ細かな話でいうと、結構多々あるんですけど、まああの強度ちょっとフォーマットのな話。
0:53:14	何がメインだと思うんで細かな話は今度言うんですけど、一応 1 点お願い事としては、前回のヒアリングとかで例えば右下 7 ページのところとかで火災防護設備はっていうのでいきなり追加してきてっていうところの話とかあったりすると思うんですけど。
0:53:30	追加するときに何か日本語が変なんですよ、火災防護設備を安全機能を有する施設に対する火災防護設備で構成して言ってその次はどこに行くと重大事故等対処施設に対する火災防護設備集まった火災防護設備が出てきたりするんですけど、その火災防護設備はDBO訂正用ですって言いたいんだと思うんですけど。
0:53:48	多分そういう表現になって日本語に今なっていて、火災防護設備はDBの火災防護設備しかないんですって最初言った後に次のページ体制の火災防護設備が出てきたりするんで、文章をここで考えて作りたいっていうんだったらそういったところはそう説明していただければ構わないと思ってるんですけど。
0:54:05	特に新しく追加する以上は自己責任で作った文章なんでしっかり精査しない限り間違いが多々あることがこれからこれまでも多かったです、
0:54:13	で、今の火災防護設備の話だと構成の話ももともとDBで冒頭の発言があって設備があって、DBの設計方針となって訂正のほうに行くと冒頭制限があって設備の話だけがあるとか、微妙な構成とかもちょっといろいろ説明してもらわなきゃいけないかなと思ってるんですけど。
0:54:30	そういう細かなところは課題とかでどっかで確認したいと思ってるので、そういう説明が今自分たちでこういう構成にしたところはしっかり説明できるようにはしていただければいいかなというふうに思いますと。
0:54:40	とり続けて申し訳ないんですけど右下 11 ページとかで、これもそれで 1 例として言わせていただくんですけど。
0:54:47	赤字で多分前回のときにその他のやつで消防法とかでやるやつのところでもとめて言わないほうがいいですよっていうふうに言って、そこが分離されたものではないんですけど、真ん中ぐらいで蒸気の重大事故等対処設備に含まれない構築物系統及び機器とはとかっていうので。

0:55:03	だから許可はこういう表現でもないだろうっていう感じの表現が出てきたりするんですね。なんか僕が言ったのは許可んところだったらそういう雑多なものも含めて全部そういうふうにやってますよっていうふうに1回宣言すればいいところで、それとは別にSA設備の内的なやつに関してはこういうふうに工程停止とか措置を講じますよという別に話をすればいいんじゃないかっていう話をしたので、
0:55:23	何か許可で言ってた絵の通り内容を近しいのかもしれないんですけど表現がどの辺になっているところがあるので、表現で悩んだときは、早めに言っていただければ、あと11ページ上のところでサトウ放射性物質貯蔵等のキー島鉄も
0:55:40	何かP8で言えばいいのになんか発電炉の構成に合わせてここに書きましたっていうんですけど、ここに書く意味もよくわからなくてなんかいちいち略語を受けるはずなのに約5億のやめて後ろでも1回動きますみたいな変な形になったりしているので、悩ましかったら的に相談していただければ
0:55:55	少なくともこういうふうに作っていただいて備考欄とかでもこのページにありますよっていうふうに飛ばしていただいて企画はしやすくなっているので、比較する上ではとりあえず横に並んでくれとタムラに幅いじったりして比較できないような形にしないでくれとかで別のページに許可の話があればそのページにちゃんとこういうふうにやってもらえば使っても、こういうふう
0:56:15	作ってきたねっていうのはわかる形になるので、これでベースで作られたそこから考え方切るっていうもんだと思っているので、その点は認識していただければと思いますと、1件だけ確認したかった2点から2点確認したかったんですけど31ページで、
0:56:29	感じてるところの話が書かれていて、今設計を一番30ページの下の左8の拳績法人ところで熱電対とかスポットは他の話を書かれていると思うんですけど、これで使用料の関係でいうと、この基本設計方針でそういうところを変えていくっていう話なのか。
0:56:47	こっでどのように政策の多分許可のタイミングがどこまでかカー会計なくて、別表かなんかで書かれてたようなイメージがあるんですけど、こっでいうのは基本設計方針でこらを担保しに行っていると思えばいいんですけど。
0:56:59	ありていに訓練イワダテでございませう系統そうですねこちらの
0:57:04	どこの地域の方は四方式というか書類につきましては、基本設計方針の中でも記載して使用表というよりは基本設計方針プラス添付書類の適合性説明の形のところで、中でどう示したいというふうに考えておりました。
0:57:22	規制庁田尻です。その仕様表を覚えてそういうふうな形と言っているのかといっているのかわからないけど、そういったところっていうのは書いてないイメー

	<p>ジでしたっけ。要は仕様表に感知器が感知もその細かく書けなかったかもしんないですけど、要はベースは基本設計方針のほとんど担保してそれに重なるような話がまた仕様表に出てくるんでしたっけ。</p>
0:57:45	<p>日本原燃の津田でございます。火災感知器については、電力さんのも確認させていただいてるんですけども資料表対象にはなっておらず、適合性説明書のほうでの御説明になってるという認識でございます。</p>
0:58:04	<p>タジリすみませんけどあとまた別紙2のときにその話聞きますねと。</p>
0:58:08	<p>別紙ってそれでもう1点なんですけど火災に関しては基本DBSA込みで、どっちかってさっきの竜巻とか外部火災時に引き上がったんですけど、外部事象においてSEとかの話ってどう盛り込むとしてるかっていうのをそれさっき聞きそびれてしまったんで硬いんとしては、</p>
0:58:24	<p>もともと11条-29条あわせて書いているとかMOXだったと思ってるんですけど、外部事象ってどうされようとしてますか</p>
0:58:32	<p>特に再処理とかMOXに関して言う等炉の方だったの外部事象起因のSAと話出てこないんですけど、最初にだからそこら辺の話が多少簡単でくのかなと思ってるんですけどそういったところをどうやって盛り込むとして認識、</p>
0:58:47	<p>日本原燃のモリマツです。以上ですね外部事象につきましては事業許可のところであの会議ある内の内容を記載していこうかと思っております。そのところで見えていくとちょっと特には触れられていないという状況にはなっておりますので、</p>
0:59:04	<p>課税の参考にですね今の記載を残す。重大事故対処施設っていうものを行って来分散とかそういったものをですね記載していこうというふうに考えております。</p>
0:59:15	<p>規制庁田尻ですねと。</p>
0:59:18	<p>とりあえずベースとしてなんですけど、許可の場合だと先ほど話が火災だってDB火災訂正火災がそれともガチャンこうした案と一緒に、DだとdBあのSA外部事象ってやつはないんですけど33条とかそこだけで触れたりすると思うんですよ、そういうのをどこまで盛り込むかっちゃう話で、</p>
0:59:35	<p>タダノの方だとどこまで何かメインで政務官フジヤの話が出てこない限りの分散というお話が出てきていたのがメインだと思ってるんですけど、そういうときに再処理とかMOXで外部事象の考慮がSAでも特に細かいしたりと思うので、そういったことをどこまでこちに盛り込んであとは、SLCのSA設備のほうで書くのかって言う整理が多分どっかで確認しなきゃいけないと思っている。</p>

0:59:55	で、これも多分来週か再来週かどっからヒアリングすると思うんでそういった点も考え方どっかで確認できればと思ってるんでよろしくお願いします。
1:00:04	日本原燃のモリマツ手続きかしまりました。
1:00:07	CT関連データ形状という別紙 1 関連でその可動型か何かありますか。
1:00:15	規制庁コサクです。今の話、SA条文は特にMOXのほうで今回申請対象に入ってるってことだと思うので、今SAの条文として今回整理をされる部分はあろうかと思えますけど。
1:00:33	DBの外部事象との関係性っていうのもあるので、月曜日に出されるヒアリングのスケジュールの時にですね、その関係をどう調整していけるのかっていうのも少し念頭に整理をしておいていただければと思います。よろしくお願いします。
1:00:51	日本原燃志和屋でございます。はい。よくそこもちゃんと踏まえた上でスケジュールを見える化したいと思います。
1:01:01	9条タジリです。別紙 1 関連なければ次別紙 2 の話に行かせていただいて、同資料の中で、
1:01:09	規制庁田尻です。すみません。辨野から別紙 1 で確認しておきたいところがあれば、
1:01:15	はい。
1:01:20	日本原燃稲場です。すみません別紙維持管理のところなんですけども、通しページに移って 60 ページになりますけども、今記載の、ちょっと記載程度になってしまうんですけども記載程度の確認になりますけども、7-1-4 孔のところですねMOXのMOXのほうの資料で言いますとお礼燃料確保、
1:01:40	図の安全確保というところですねここについてはちょっと許可で号棟ところ書いてなかったところですね発電炉側にちょっと要請に行つて大分記載を入れてしまってるんですが、先ほどいろいろコメントいただいでる中でちょっとここはいつも我々も今書いてしまっているところがございます、
1:01:59	やる内容としては内部火災影響評価ガイドに基づいてその影響評価をやるというところについては変わらないんですけども、今ちょっとここだけがですね発電用の発電炉のほうの記載に大分寄っているというところを、についてですねちょっと
1:02:15	規制庁さんの方のですね見解をいただければなと思って今ちょっと発言させていただきます。
1:02:22	あと、それに規制庁の田尻です。基本的にですね要はのガイドに基づきであるとか、審査基準に基づきっていう考え方が許可で示されていて細かく書いてなかったところがあるっちゃう話がメインだと思っていて、結局単一故障でお話し

	<p>しますよとか、やってないところは書けないものをかけないといいと思っ て、</p>
1:02:41	<p>口に合う全く顔しちやだめという話をしているんじゃないで、付け加えたほう が記載として補足できるんで書きたいんですけどというのは認めてないので、 要は許可で書いてなかったんでここを書かないほうがってものを別にそこま でこだわる必要はなくて、要は許可でしっかり書いてたものをルールに合 わせて無駄にいいじゃないですかねっていうのがメインのところなので、</p>
1:03:00	<p>つけ足していいところは別に付け足してください。</p>
1:03:04	<p>下のイナバです。了解いたしましてありがとうございます。</p>
1:03:11	<p>経常たりするほか、原燃が何かありますか。</p>
1:03:18	<p>本件のイワダテですね等、あとは大丈夫です。ありがとうございます。</p>
1:03:22	<p>規制庁田尻ですそれでは別紙2のほうの話かせていただいて、</p>
1:03:28	<p>ちょっとそれまとめも細かくなってしまった場所が見れなくなっちゃった んですけど、その1回考え方だけまず確認したいんですけど。</p>
1:03:35	<p>考え方のまずそういう経済そういう恐縮なんですけど、88ページ89 ページとかでこれが最も1ページにおさまらなかったっていいですかね。</p>
1:03:44	<p>日本原電ねイワダテでございます。ちょっとそれから開示か4回時になっ てしまった関係で頑張ったんですけども、これが限界でした。</p>
1:03:54	<p>規制庁田尻です。何かここ同じ設備マツオカ主な説明を資料で記載が 出てくるから、</p>
1:04:02	<p>とりあえず体裁なんであの可能なの1ページのほうが見やすくなって いうところはありつつなんでそこはちょっと体裁何でここは置いといて、</p>
1:04:10	<p>一つ確認なんですけど後ろの方か見ていったときに、第1回申請所が 完璧に廃炉なりのやつの墓地用いたりすると思うんですけど、基本設計 方針って書いてるやつ等完璧に横バーにしてるやつの違っているのは 何かあるんですけど、割と漏れなく拾ってきて、</p>
1:04:30	<p>つきまして、後ろのほうに表でいくと丸と参画の値がEに近いの かもしれないんですけど、そのあたりってこの表で言うところのよう に表現されてるんですけど、あの基本設計方針なんで、全体観、本 当に当たりされないような形で書いてるものっていうのはかから ない形になってるんですけど。</p>
1:04:47	<p>日本原燃西原でございます。基本的なベースの考え方としては要 求し別のところで冒頭制限とか、定義へという共通的な記載項目 についてはあるアルミとかすべからず今回の1回のときに、の 詳細設計を示す部分があるんであれば対象にして、</p>

1:05:07	続けてます。ただ機能要求 1 とかですね、その詳細な設備の設計とリンクするようなものについては、当該設備が申請されたタイミングで示すということで、1 階のところはグリーンになって 2 回とか 3 回とか、申請
1:05:22	設備が出てくるときに初めて丸が出てくるという形になってます。
1:05:27	規制庁田尻です。例えば 96 ページでちょっと説明細かくという水が減るから二つ目とかで、今日は第 1 回申請を全部横バーにして第 2 回申請のところの基本設計方針で個別の説明書とかの話が書かれると思うんですけど、いや別にこれ記載を改めてどうこうって話ではなくて第 1 回の事前で記載は示してはいるものの、
1:05:47	要は設置要求の形になっていてその設置の話に関しては第 2 回申請出てくるので。一応今日設計方針もそのタイミングで丸がつく形になっているっていうだけで要は中身は前から示してるんだけどどっから意味合い、それをその部分を説明するための意味を持つかった第 2 回からだからっていうのでそこからモリマツンですかね。
1:06:07	同時にイシハラでございます。896 件ましたっけ。1 階がグレーになってるやつはですね項目大項目に見たときに前のページとかに前のほうの項目でファームの基本方針定義とか冒頭制限が入っていると思います。
1:06:25	その部分は第 1 回に基本的方針として記載をしてお出しますがこのグレーのハッチングになっているところは本部の基本設計方針には第 1 回で登場しないということの整理でございます。
1:06:41	規制庁田尻です。ちょっと確認なんですけど、基本設計方針を本文事項っていう意味で言うと、わりかし大体書かれちゃってるイメージはあるんですけど、書いてないっちゃうのはどのレベルの話でしたっけ。
1:06:54	この番号部、連番で基本設計方針ごとに番号を振ってますがその番号の項目の記載のところでは第 1 回のところに丸がついてる場合は、この項目自体の記載は第 1 回の申請で給付設計方針が登場しないと。
1:07:11	ということです。丸がついたところで初めてこれが足されるということで考えてました。
1:07:25	規制庁コサクです。
1:07:28	今の符号の付け方はそうなんだろうと思うんですけど一方で、今回の申請での基本設計方針でその他条文についての対応で部分的に提示しますっていうのはあんまり聞いていなくてですね。
1:07:44	火災防護の中で特に水槽の濃度抑制かなんかで蓄電池の話をも具体的にとかそういうものであればその部分だけは蓄電池を設置する開示に入れますとかっていうので。

1:07:59	個別の設備に係るものになってるのはちょっと外しますっていうのは聞いてますけど、あまり次回でっていうのは多くないような話で聞いてたんですが、
1:08:15	今の統合校廃炉にしてバーにしてとかっていうのを見ると1階が相当その量が多いように見えるってあって、これまで聞いたのとちょっと違うような気がするんですけどそのあたりどうなってるんでしょう。
1:08:33	日本原燃西原でございます。考え方は今はコサクさんがお話で説明を今まで指摘という考え方としてはですいません、私自身も変えてないので、御苦労単位で頭のほうに出てくる。
1:08:51	基本的な考えみたいなものは当然ながら、第1回の範囲として出すと、個別設備と一対一になるような詳細な内容につき込む場合は、その申請設備等の関係で開示出すっていうベースは変わってないと思いますので、もう一度確認チェックをさせていただきますが、
1:09:10	今までお話しした形を変えたつもりはなかったです。はい。
1:09:20	規制庁田尻です。1点確認なんですけど、今別紙1に書かれている基本設計方針があるかと思うんですけど、それであと次回のやつって何か見分けがつくのです。
1:09:31	人間にイシハラでございます別紙1の作り込みの時にすいませんそこまで今やってませんで、第1回というよりは全体の基本設計方針で比較をしないと比較がうまくできなかったのでも今はフルパッケージになってます。
1:09:47	規制庁田尻です。削れるところがある場合そこをちょっとどっかで言っていたいたほうがいいかなと思っていて先ほどよう政令に個別の話だと削れるっていう話は聞いてたんですけど、何か別紙1では1Fのパッケージ出してこられたので、
1:10:03	1回書こうとしてるのかなっていうぐらいにちょっと思っているところもあるんで、
1:10:07	ちょっとどこかでその考え方はあの程度、今の認識状況認識したんですけど、ちょっとそこでずれると最後、これで共通、℃で確認したものと、最後の記載がずれていて何かまたそこからっていうふうにするのもちょっと2\$3度手間になってしまう気がするんで、
1:10:24	認識だけ合わせればと思うんでよろしく申し上げます。
1:10:28	日本原燃西原でございます。お示しの仕方を考えたいと思います。ちょっとタイミングが遅れてしまったようなんですけど、もともとは別紙6の中で、そのパッケージの形がお示しできるかと思ってたんですけど、どうしても作業上は、
1:10:43	別紙1の後に別紙6が来るので、可能な限り早くその絵姿がわかるようにと工夫をしたいと思います。

1:11:02	規制庁コサクです
1:11:03	第 1 回入れる入れないみたいな話で、確かに一応 92 ページからのところは、個別の設備でっていう領域に入っては来てはいるんですけど例えば
1:11:19	96 ページの項目番号 30 番
1:11:26	これについては、
1:11:28	一般的な潤滑油、燃料溶融を内包する設備っていうことになってるような気もするんですけどこれはな特定の設備という意味合いになるんですかね。
1:11:41	乳井西原でございます。一応これ、
1:11:45	添付の記載にもありますが、オイルパンとか個別の設備に出てくる対象を特定して展開していこうかなと思ってたところでございます。そういう意味では先ほど私チェックさせていただきまして言ったのは、
1:12:00	今おっしゃってる通り、これ共通的な考え方でいいよメールじゃないかというところもあると思いますのでそういうところのちょっとすみ分けと、
1:12:10	大分
1:12:12	人によって変わり急ぎますますけど統一的な考えをちょっと作りたいと思います。
1:12:19	はい、規制庁の古作です。この辺りの入れる入れないというところの考えが整理できると大分読みやすくなるかなと思いますので、その点も整理をして御紹介いただければと思います。よろしくをお願いします。
1:12:39	9 条タジリです。別紙 2 に関しては、先ほどハセガワ換気設備っていうのは、
1:12:46	何か 1 例でいいんですけどここだとどういうふうに表現されてるんですけど、先ほど指標とか本部の関係でここでどう分けるかというのが見えるようになっている設計。
1:12:55	はい。
1:12:58	日本原燃に支払うと具体的なページ数と火災の担当の方からニシヤマの機能要求になっている他の業種別で機能要求にっていうのが出てきますとこれあの仕様で、その性能なり何なりを担保する必要がある設備になりますので、そのフラグがついたところに右見ていくと、第 1 回中どこの会社。
1:13:18	必ず使用表という項目の欄にものを書いてあると思ってます。そこで書いてあるもの自体が使用表の対象としてエントリーされるものということでございます。河原木仕様表にするものについては使用表に対してどういう担保するかと。
1:13:36	いうことの項目がわかるように、Kakehi書くようにはしてるんですけどまだ書き系ってない部分もあるかもしれませんがそういう展開で考えの整理をしました。

1:13:48	9条タジリです。書き方のイメージは認識はそんなはずないんですけど、1例どっかで確認できると助かるんですけど。
1:13:56	はい。日本原電イワダテでございます。感知については以下の113ページ以降からあと感知消火という項目になってるんですけども、別紙1でお話したかとツーツーで完治に関してはちょっと今のその仕様表の展開っていうのは特段添付書類への適合性でっていう話をさせていただいたところがあるですね。
1:14:14	完治に関する項目に関してはその要求種別はさっきの要求種別②に相当するものをしようというところであったんですけども、そういった要求時滑って等の預金②っていうのが感知のところについてはないので、特出しを表での列で丸とかっていうのはなくイナバになっているといったのが実態ですね。
1:14:32	えっと消火としてはですね。
1:14:36	あと、119ページのところで、
1:14:40	当項目番号で言うと199番のところで消火設備の消化剤容量というところで容量として示せるものへとちょっと今回の一連の中で、このちょっとこのページだと水層の水位計のところですね制限の容量という形でその第4回申請の仕様表のところで、
1:14:59	対象となる設備を今書いているといった形にしております。以上です。
1:15:04	規制庁田尻です。多分感知器など消防規格品とこの話あつから使用表じゃなくなっているか、東京設計方針で細かくとかそういう話の整理をされてるんだと思うので、ちょっとその影響火災の話はなかなかしてる暇が多分もうあんまないの程度そこの考え方もどこかでちょっと確認させてください
1:15:22	多分おっしゃられてるのは消化とかの話になると推計の貯槽とかの話になってしまうとこれも個別に引き確認とかそういう話じゃなくて個別に整理しなきゃいけない話なんで終了書いたりとかそういうところとかポンプとかも多分人達は有料化てんのかとかそういう話だと思うので、そのあたり含めてどっかで確認させていただければと思います。
1:15:41	日本原燃イワダテで承知いたしました。
1:15:54	規制庁田尻ですと、別紙2関連でその他の方向かありますか。
1:16:13	規制庁田尻です。なければ、別紙3、3とかの話に一定なんですけど。
1:16:20	こちらまたその整理を見ていくという形だと思うんですけど、ちょっと一遍確認しておきたいんですけど、別紙3と別紙5か何か、ほぼほぼ同じ内容になっているところがある気はするんですけどこっかっていう、
1:16:34	別紙5から別紙5-①当別紙3でいうと、別紙5-①っていうのは何か別紙3に加えて何か情報になってるんでしょきます。

1:16:46	日本原燃西原でございます。はい。3を似たようなもんじゃというのはご指摘の通りでございます結果行為がなってますね。名刺5のほうで役割分担は添付書Eの展開を別紙3で補足の展開を別紙5ということで、
1:17:04	整理をさせていただきました。別紙3の中で口側可能添付書類の展開をするときに補足のない情報もあったほうが全体を見渡せるようねということで出した結果、別紙5-①あんまりようがないんじゃないかという状態になってるのは実態でございます。はい。
1:17:22	事実関係の所有ようになります。
1:17:26	規制庁田尻です。ニシカワさんから思ってたんで一応事実確認ではありました。何で別紙5見なきゃいけない所別紙四、五日が書いてない情報というのはないと思っというていいですかね、サガワや、整理としてはちょっと文字が大きくなっていませんかというところがあるぐらいではあると思うんですけど、中身はそういうもんだと思っておけばいいですかね。
1:17:46	日本原燃志和屋でございます。はい、その認識でいていければよいと思えばさい。
1:17:52	規制庁田尻です。とかさの内容としてはこの附属要らないのかっていうところはちょこちょこあったりするんですけど、それ個別の話なのでフォーマット的な話で別紙3について確認したい方との戦いますか。
1:18:20	今日タジリ通常タジリ率で個別の中身とか今後確認という形でこの後もこういう形になりましたので、別紙4に関しては、火災として言うんだったらあの方も火災防護計画の話が盛り込まれましたよっていうのと、多分ほとんど踏まえながらこっちも影響を受けるかなと思ってるんですけど、ここも別にフォーマットどこ変わったもんじゃないんです。
1:18:40	ちょっと飛ばさせていただきます、
1:18:43	別紙の話になってるんですけども別紙以降も、①は多分同じような会を分かれています、
1:18:54	107ページぐらいのところ今火災で1例で書かれてるのは多分個別設備に関するものに関しては、当然実用炉の個別設備に関わるから記載になってるんでそういう事態をつけませんよと。ただ、それに対応するような再処理施設としての感知消火とかの話でつけなきゃいけないものをつけますよとっていうのが、
1:19:12	右下に書かれてるようなイメージでいいですかね。
1:19:18	次にイシハラでございます。はい。

1:19:22	補足説明、前回から変えたのは、左側の構成に講じて順番を入れ替えましたので、右側をですね、その形にしたのだと発言の内容の補足説明の内容を見た上で設備特化なのか、もしくは発電度出てきている。
1:19:42	指示文書対応で書かれてるものとかいろんな中身を見た上で内容は同じで設備が違うだけだよねっていうのは、なるべくその面を合わせた上で、同じようにうちでも、補足があるということを展開するのとあとはその抽出できたものは、真ん中の下に、
1:19:59	これをしますっていうのを追加したのを書いているということでございます。バーになってるのは、今回の抽出としては対象にしないということで選定をさせていただいたものであります。
1:20:13	規制庁の田尻です。十分認識しましたので 308 ページから以降で 1 階 2 階 3 か 4 回それでどんなもつきますよというのが書かれているという認識はしたんですけど、その上でなんですけど概略であるとかどんな費用をつけるっていうのはね、これなんだと認識はできると思ってるんですけど。
1:20:30	内部監査に限らずなんですけど、第 1 回申請の資料を田茂いまだになんか見たことなどがまじっちゃってるんじゃないかと附属だと思っていて、1 回早めに意識積んで欲しくてですね何かほかの影響を受けるん 0 0 っていう何か伸び伸びのみにやってるやつを、
1:20:46	中身見てみたらどうせなんかパブコメしなきゃいけないもの出ていると思ってるので、あまり延び延びになり過ぎても意味がないと思ってるので、これはつけますというのであれば、1 回パッケージでいいって見れてもらえると、要は何を言ってるかっていうと、項目名とか、概略としてはまあそういうことだよねって申し上げよう細かな細かな中身としてら記載レベル。
1:21:06	足りない足りるの話が出てくるような気もしているので、その点についてはとりあえず一式を 1 回見せて欲しいっていうのが出て内部監査に限らず査察の人がそういう系も全部なんですけど、その点はお願いたいですけど、これどれぐらいかかりますか、時間。
1:21:26	日本原燃西原です。ちょっとスケジュール感は整理させてください。今回別紙をすでに府営フォーマットに作業をしてもらっていて、別紙をやることによって追加される補足説明は以上に作ってもらっている状況だと認識はしてるんですけども。
1:21:45	その作業の状況を踏まえた上で、スケジュール感は示しをしたいと思います。
1:21:51	規制庁田尻です。これも結局審査会合で 9 月補正って言う時は多分一式補足も含めてそれまでにうちが見れてるっていうことになってるんだと思ってるので、別にうちが慌てさせたいわけではないんですけど資料意識見ないとわからないのでその点はよろしく願います。

1:22:07	別紙 5 までどなたか他に何かありますか。
1:22:13	規制庁コサクです。307 ページ。
1:22:20	の記載ですね、コメント対応ができてないところがあって、
1:22:24	左の表なんですけど、綺麗に縦軸に並べられたように見えるんですが、
1:22:31	一方でこの縦軸全部を補足説明資料という縦軸になっているだけで何の添付書類の添付書類のどの部分に対する補足なのかという分類が整理できてません。
1:22:46	で、ここで次の列に書かれてる内容は、
1:22:50	その前のページに書いてある前のページまでに書いてある補足説明補足すべき事項、
1:22:58	どうも科医括弧で書いてある事項だと思うんですけど、そうだとすると、それに
1:23:06	そっか、それがぶら下がっているところはその前の添付書類のかぎ括弧で書いてある部分だと思いますので、それとの繋がりですらに 2a 層ですねそれぞれの繋がりがわかれば添付書類のどこっていうことがわかって、
1:23:22	その並びに合わせて
1:23:26	3、107 ページの左の表は並べる必要があるんだと思ってたんですけど、その辺りの整理はどうなってるんでしょうか。
1:23:35	日本原燃志和屋でございますすいません。まだできてなかった消せますご指摘の件は、作業は、
1:23:42	できてなかったんです対応関係はご指摘の通り前のページまでで添付書類との関係はもう明らかですのでへのすぐに展開をします。困ったことから、それがわかるような展開をしたいと思います。すいません。
1:23:58	規制庁の古作ですよろしく願います。フォーマットでいうと、
1:24:04	一番左のところを補足説明資料というのはやめて添付書類何番でその次の小項目番号なり先ほどの前のページの添付書類のところを書いてる会がこの部分を格段、
1:24:20	それに対して補足。
1:24:23	今書いてあるところなんということにしたらうと、
1:24:28	前のページとの繋がりが見えて並び替えも整理ができ、
1:24:32	で見えていけるということになると思いますのでよろしく願います。
1:24:38	日本原燃社員でございます対応させていただきます。
1:24:45	規制庁田尻ですが、加工 00 シール通して規制庁側から原燃側から何かありますか。
1:24:56	コンビニワダテで政党原燃側からは特にございません。
1:25:01	規制庁田尻です。

1:25:03	でも化モデルも対応いただくとして、スケジュールも結局来週示されるというので、今日のメニューとして共通 09GalのIPすみません西側でございます。アポの教頭 09 で設備選定のところの部分、別紙でどんどん拡充していきますというお話をしたものを
1:25:23	でございます、
1:25:26	16 日に示す本当であれば再処理の部分の別紙の 1-1 というのもつけてお出しできればいい答えさせません間に合わなかったので別紙 1-2 ということで、木製あのええと 11 条と 29 条に係る設備中枢の作用結果というのを乗せた形に
1:25:45	お出ししています。これと同じような展開で今後、各条文とのひもづけで設備抽出の結果を出しをしようと思っております。簡単に構成だけちょっと説明させていただくと投資の 12 ページから別紙 1-2 というのが始まってまして、低と目次があって、
1:26:04	申請対象設備リストっていうのが 1 ポツでありますこれ 12 月にお出しをした申請書の添付書類についていた設備リストにこの設備抽出の結果を反映するとするとこういう形でリストとしては反映していくつもりですという絵姿がわかるような形で 1 ポツに、
1:26:23	載せてますんでそのあとに続いてる 234 号がこれに関係する設備の抽出として立ち会った作業の結果を載せてます。MOXの場合は、今回は窒素消火設置装置と二酸化炭素消火装置グローブボックス消火装置に対して、
1:26:40	それぞれ 16 ページ以降に順に表示があってその結果を載せてます。16 ページの次の 17 ページにある表がですね、これは機器の抽出結果でございます。18 ページにあるのが配管の抽出結果になります。
1:26:59	以前の話の取引については一対一でなるべく同じようなものは掲げる何ぼっていう話になりますがの設備リスト側に反映をして以下については一式という形で反映されますがの配管の方特にフローというのを切り分けをしていますのでこれが使用表とのリンクになると。
1:27:17	ということでございます。RIS等に至った色塗りをしたシートをそれ以降につけていると同じパッケージの形でそれぞれ二酸化炭素とグローブボックス消火装置もつけさせていただいています。という形で、同じように速やかにPC1-1 の再処理分も
1:27:35	頭出しをしたいと思います。今後各条文の説明をする資料だ際にこの共通 9 - 別紙シリーズをふやして、その条文と関連する設備の抽出結果をお出しをするという形で対応させていただければと思っております。以上です。
1:28:00	規制庁コサクです。

1:28:03	資料のイメージは大分固まってきたものと思うんですけど、
1:28:10	えーとですね。
1:28:12	共通 00 の議論っていうのはさっき、これまでお話ししたところで、まだまだちょっと時間がかかるかなっていう気もするんですけど、一方で設備抽出の今のこの共通 09 への対応っていうのは、
1:28:29	早く整理しないと分割申請計画のセットをしていくというところにも影響するので、
1:28:39	ここにやっていくヒアリングの最初でこっちのほうはかためて言っかないと、全体スケジュールとしては後れを取ってしまうんじゃないのかなと思っています。
1:28:49	それで言うんですけど月曜日 2 スケジュールを出していただくということではあるんですけど。
1:28:57	その際にどの条文で設備。
1:29:02	のどこの部分をどう出していくのかと。
1:29:06	いうことで網羅的にできるのがいつなのか。
1:29:11	ていうのが見えるようにしていただきたいんですけど、月曜日のスケジュールの中でそういう共通 09 別紙についても整理いただけるとってよろしいですか。
1:29:26	日本原燃西原でございます。介護のスケジュールは設備選定も込みで書いてますので、お示しをできるように、4 日もありますんで、何とかかなと思います。
1:29:44	規制庁コサクです。4 日の意味はあまり深く、
1:29:49	お聞きしませんけれども、月曜日よろしくお願ひします。以上です。
1:30:00	規制庁シミズですね、全体を通して規制庁側から何かありますでしょうか。
1:30:08	はい。
1:30:09	それでは全体を通して原燃側からは何かありますか。
1:30:15	日本原燃特にございません。
1:30:18	ありがとうございます。規制庁シミズですとそれで本日のヒアリングは終了したいと思います。録音停止します。